

特集

もう一つの柱「産業人の連携」へ

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 特集 もう一つの柱「産業人の連携」へ
『茗溪・筑波大学産業人倶楽部』盛大に発足』 …… 03 ～ 08
- 平成 30 年「追悼のつどい」 …… 09
- 平成 30 年度 茗溪会地域組織表 …… 10
- 筑波大学学生活動支援事業 …… 11
- 学生活動支援事業採択団体の活動内容紹介 …… 12 ～ 13
- 茗溪・東西南北 …… 14 ～ 15
- 茗溪会 公開講座 藤原教授の英語のはなし 第 17 弾
「英語の所有表現に挑む！」 藤原保明 …… 16 ～ 17
- 『占春園再生プロジェクト』協力者ご芳名（追記） …… 18
- 平成 30 年度『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 18
- 平成 30 年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 19
- 季刊誌『茗溪』正月号に誌上交流広告掲載ご協力をお願い …… 19
- 筑波大学はいま …… 20
- 茗溪学園だより …… 21 ■ 著者紹介 …… 22
- 桐の葉のつどい …… 23 ■ 追悼録 …… 24
- 広報 …… 25 ■ 表紙のことば …… 25 ■ 編集後記 …… 25

茗溪



秋

2018

平成30年

no.1099



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHSからはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科[管理栄養士養成課程]

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科

理事長 中部謙一郎

常務理事 河野 隆二(S47農)

監査室 矢野 正人(S53院修 農)(神奈川茗溪会 会長)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(同 副会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

特集

茗溪・筑波産業人倶楽部発会式

(P.3～8 参照)



西日本豪雨災害募金袋



筑波大学の学生活動に助成金で支援 (P.11～13 参照)



学生団体に助成金を贈呈する江田理事長



助成金の目録贈呈

佐藤 筑波大学副学長(左) 江田 茗溪会理事長(右)

追悼のつどい
平成30年9月1日(土)
於茗溪会館

(P.9 参照)



来賓挨拶 佐藤筑波大学副学長



江田昌佑理事長の挨拶



一般社団法人 茗溪会「追悼のつどい」

公開講座 藤原保明先生
藤原教授の英語のはなし 第17弾
「英語の所有表現に挑む！」 (P.16～17 参照)



受講風景



藤原保明先生

《もう一つの柱「産業人の連携」》

「茗溪・筑波産業人倶楽部」盛大に発足

筑波大学の卒業生は、東京教育大学以前の卒業生が研究や教育の分野に進むことが多かったのに対して、産業界に進む方が大多数となりました。

しかしながら、産業界に太いパイプのある他の大学に比べて、産業界にそれほど多くの先輩のいない筑波大学の卒業生は、これまでも、そしてこれからも、自ら新たな道を切り開いていくことが求められています。いま世界はグローバル時代を迎え、わが国の産業界でも、古い伝統やしきたりを打ち破り、世界に通じる新しい発想の仕事のあり方や新しい商品（コンテンツ）の開発が急がれています。これは、「未来を構想する大学」としてスタートした筑波大学の卒業生にとって、大きく飛躍するチャンスがあるということでもあります。

筑波大学の創立当時の卒業生が定年を迎える年代になつてきて、各企業で相応の地位に就いていたり、後輩に配慮する余裕がでたりもしているようです。

また、仕事は人とのつながりでなされる面があることや、異業種の方々との交流が新たな価値を生み出す契機となることもあります。

そのように考えますと、今回の「茗溪・筑波産業人倶楽部」（以下、「産業人倶楽部」と記す。）の発足は、大きな可能性を生み出すチャンスとなります。猛暑の中110人もの参加者が集まり、7月22日（日）に茗溪会館で発会式が行われましたので、報告します。

百余名が参会、盛大に発会式開かれる

高野力事務局長の司会で始まった会は、西日本豪雨の被災者に対する黙祷の後、本会の理事でもある筑波大学の佐藤忍副学長および笹のぶえ全高長会長からの祝辞の後に、江田昌佑理事長の基調講演がありました。

◆江田昌佑理事長の基調講演

本日、ここに新しく茗溪・筑波産業人倶楽部の発会を迎えることができましたことを、ご参会の皆様と共に心からのお祝いと敬意を捧げます。

先ず初めに、この会の設立につきまして、具体的に事を進めてこられた関係機関及び関係各位に心からの敬意と感謝を申し上げます。1年半に亘りましての本会理事会の組織委員会、茗溪経済クラブ、筑波みらいの会等の熱心な協議、更に筑波大学事業開発推進室の協力を得たことなどは特記されます。ありがとうございます。

本日、私には「茗溪・産業人倶楽部に期待する」との演題をたまわりました。私が日頃考えております思いの一端などについて述べ、その責を果たしたい所存です。

茗溪会は、平成28年1月「新法人発足3年を経過して「レビューと中期将来計画」を策定し、今後の運営の基本大綱と位置づけました。

振り返りますと、茗溪会が創設150年を迎える中で、東京教育大学以前の卒業生にとつては、職場には茗溪会があり、教育界全体に幅広いネットワークが構築されていきました。現在でも充実・継承されています。

一方で、総合大学である筑波大学卒業生は多様な業界に進出して、現在では多くの人々が活躍されていますが、同窓会としてのネットワーク化は必ずしも十分とはいえない現状にあります。

前述のレビューと中期将来計画の中で、この課題について申し上げると、教育以外のもう一つの柱として、教育界以外の業界での自立的な同窓の活動を支援し、連携を深めるネットワーク化の必要性を提起しています。

このような背景のもとで、産業界を中心とした情報交換等の互助事業の具体化に向けて、関係者の協力を得て、検討、協議を重ねて参ったものです。

平成30年3月の理事会で、産業界を中心とした新しい中核的な組織「茗溪・筑波産業人倶楽部」の設立が決定された経緯であります。



人類の文明の歴史の中で、多くは交易の地でその華が開いた事実があります。多様な人々との交流が進歩・発展、或いは創造の源泉となったことは間違いないと思います。

さて、われわれがこの茗溪・筑波産業人倶楽部を情報交換の互助事業の中核的な組織として、どのように育て進展させるのか、その期待は…。

そこで、この産業界人倶楽部設立に献身的にご尽力くださったお二人の賢人、われわれが敬愛する実業家お二人の示唆に富んだ言葉を紹介したい。

「企業で働く同窓生に対する茗溪会の役割」と題して「同窓生は様ざまの異なる企業や組織で働いています。従って、同窓生が何人か集まれば自ら異業種交流の場となります。異業種交流の良いところは価値観が異なり、役職が異なり、喜び、なやみ等が異なる者が語り合い、意見を交わすことにより、それぞれの視野を広げ、能力を高めることが出来ることです。そのような場を容易に作れるのは同窓会です。茗溪会の各地域組織等が意識してそのような場を作れば、同窓生に活力が生まれると思います。勿論、同窓生がその場に臨む意欲と行動力を持つ必要があります。」

もう一人の賢人の言葉は、

『これから生きていく若い人達には、いわゆる知的偏差値だけではなく、人間的な偏差値の高さが求められていると考えています。それにはスキル（仕事のし方や考える力）とマインド（志と思いやる心）と美德（世のためにつくす心根）を高めることです。利己よりも利他を考える人材であることです。』

前者は会報「茗溪」の平成27年正月号に記載された本会副理事長の井口武雄理事です。後者は会報「茗溪」平成30年春号に記載された河本武理事であります。

お二人のカジ取りでスタートした当クラブです。お互いを高め合う互助の精神で歩むことは茗溪のよき伝

統であり、新しい価値観を見出す根源となりましょう。

最近、第4次産業革命の論議を耳にします。第一次産業革命は蒸気機関、第2次は電気、第3次は情報・通信技術の革命、第4次の中心の技術は、IoT、AI、ビッグデータと言われています。これらの技術は、いかに既存の技術や社会のニーズにマッチさせていくかが重要になります。

そこで最も重要と考えられるのが人材でありましょう。専門的な人材だけでなく、それを支え或いは推進する人材、そして多様化に対応できる人材の必要が議論され、渴望される時が必ず到来すると考えられます。その時こそ、われわれ若溪会は教育界と産業界等の両輪を視野にした有能な人材で社会への貢献を推進してくれることになりましょう。

最後に、若溪会理事長として皆さんにお願いをしたい。若溪会は50年の歴史の中で次の世代を視野に入れた若溪会活動の大きな柱として、産業人クラブの発展を願うものであります。その活動を通して会員相互の実りある互助活動を推進していただきますよう期待しています。当クラブの設立を若溪創基50年記念の前におし事業として位置づけておりますことに、ご理解をたまわりたいと存じます。皆様のご協力を心からお願います次第です。

祝辞

佐藤忍副学長「異業種交流でイノベーションを期待」

「45年前、筑波大学は東京教育大学の後継として開校しました。国内外に開かれ、多様性と柔軟性をもつ新たな大学の開発という理念のもと出発しました。それから半世紀、国際性と学際性を兼ね備えた世界に開かれた大学として、体育と芸術も備えた真に総合的な研究する大学として全力を挙げて進んでいます。筑波大学は、基礎研究に加え、社会実装研究や社会連携にも力を入れて、担当の金保副学長が産学連携に懸命に取り組まれた結果、



RU11（アールユーイレブン）という日本の大学のリサーチユニバーシティの11大学の一つに入りました。

学生は現在、学群生1万、大学院生6千、合わせて1万6千人いますが、留学生が2千5百人と16%を占めています。6人に1人は留学生と国際色豊かです。また、卒業生の進路では、理工系は7、8割が大学院の修士を経て、産業界で活躍しています。企業の人事担当者が評価した大学イメージランキングで、筑波大学は総合1位だと聞いています。これは、これまで地道にそれぞれの場で活躍してきた先輩の力だと思っています。

ただ、若溪会員登録者は卒業生の1割程度です。筑波大の卒業生がでてから40年になるのに、それぞれが個別に頑張っているだけでは勿体ない。学問の世界でも、研究者同士が異分野の人と交流することで、異分野融合、異分野連携により新しいイノベーションが生み出されることが知られていますが、産業界も同じだと思います。同窓会で異業種や同業他社の人たちと知り合うことで、自分の仕事の幅と奥行きを深めていけると思います。これまで筑波大の卒業生にそのような環境がなかったのは残念です。そのような人たちを引き付ける磁力が必要なので、この産業人倶楽部に大いに期待しています。」

笹のぶえ全高長会長（都立三田高校校長）

「教育界と産業界の両輪で」



「教育界とともに産業界においても新しいネットワークを構築し、グローバル社会、IT社会の産業界の発展に寄与されることを期待します。国際色豊かで柔軟性と多様性をもつ筑波大学の卒業生が、ソサエティ5.0を産業界と教育界が両輪となつて発展させることを願います。」と、祝辞がありました。

五十嵐浩也センター長

「筑波大生は産業界に向かっている」

——続いて、五十嵐浩也筑波大学DACセンター長から、筑波大学の現状について説明がありました。



「世界に開かれた筑波大学を象徴しているのが留学生で、現在2457名在籍しています。また、海外の同窓会組織に入っている人は、全体で二千人程度いますので、全世界に二千人の会員がいることになります。

筑波大学の卒業生の進路先は、進学42%、就職43%です。文系は学群で就職し、理系は大学院に進学して、留学生はそのまま帰国しています。就職率はほとんど上昇して、就職希望者の96・5%が就職しています。

就職者の業種（企業・教員・公務員・独法の4分類）では、大半が企業で、次は教員ですがこの5年間で急減しています。結局、昨年度は、教員希望は4%で、82%の学生が企業に就職し、大多数がサービス業です。

大学院生（修士、博士前期）は、博士課程への進学が11%、就職が60%、その他が28%です。その他に留学生も含まれ、特に国費留学生はほとんど帰国します。私費留学生の多くは日本で就職を希望しています。

大学院生の97・5%が就職希望で、86%が企業への就職希望、大学教員を合わせた教員の就職は8%です。学群卒のサービス業就職に対し、修士卒はメーカーへの就職が多数です。

博士課程卒は、昨年度98・3%という就職率でした。90%台で推移していたが、昨年度は非常に高く、希望すればほとんど就職できました。その50%は企業に就職し、24%が大学教員、5%が教員で、計30%が教員になっています。博士課程卒の就職先は、サービス業が最多で、次がメーカーです。職種は、4分の1が研究職で、次いで大学教員、医師です。このように、筑波大学の卒業生の多くが産業界に向かっていることは明白です。」

シンポジウム「なぜ今、交流が必要なのか」

シンポジスト…

河本 武（株）ユーハイム代表取締役会長

廣田則夫（株）日立建機教習センター顧問

助言者…江田昌佑（茗溪会理事長）

司 会…川田孝一組織委員長

―川田組織委員長の司会でシンポジウムが始まり、シンポジスト二人に、「私の経営観」、「産業人倶楽部の役割と展望」、「未来からの留学生である筑波の学生に対して言っておきたいこと」の三つのテーマについて語っていただきました。

一、「私の学生時代、就職、そして経営観」について

―「私の経営観」では、「①東京教育大学・筑波大学に入学した理由は何か。②入社したきっかけは何か。③入社後培った経営観はどんなものか。」を軸にして話していただきました。

●河本武「私の経営観は、教育学経営者である」

①入学の動機は、父の母校だから

「神戸生まれの私が東京教育大学体育学部健康学科に入学したのは、父親が東京高師の卒業生だったからです。62年に卒業して同大学院教育学部に入り研究をしていましたが、主任教授が亡くなった関係で単位取得退学をしました。64年にユーハイムに入社して、67年には西ドイツの菓子学校に留学しました。85年から30年間社長を務めて、15年から会長職に就いています。」

②舌に教養、語学習得、税理士の資格と覚悟

「大学に残って研究者になりたかったが、進路変更を迫られ、お菓子会社の「ユーハイム」に就職しました。当時の社長エリーゼ・ユーハイムさんからの「ドイツに



お菓子の勉強に行きませんか」に、即決で入社を決めました。煙草を吸いながら話を聞いていた私に、エリーゼさんは「煙草はすぐにやめてください。」とライターを取り上げられました。そして、「舌

に教養をつけてください。煙草なんか吸っている場合じゃないですよ」とたしなめられ、その瞬間に煙草はやめました。また、エリーゼさんはドイツ人ですが、中国の青島で創業して、中国語も英語も話せ日本語もできる「百年前のグローバル人間」でしたので、語学の習得も求められました。

当時専務だった父には、「商人になる覚悟はできているのか。気持ちの上で卒業証書なんて捨ててこい。そして、税理士の資格を取ってこい。」と命ぜられ、懸命に勉強して取得しました。最初の辞令で「渋谷の喫茶店のボーイ」を命ぜられ鶏冠に血が上りましたが、今から考えるとこのスタートが自分を今に導いてくれたと思います。最前線の現場に立つことで「商人になる」覚悟が固まりました。」

③経営理念は、「教育学経営者」でありたい

「入社した50年前のユーハイムは、店舗数も少ない神戸の中小企業で、社員はほとんどが中学校卒業業者でした。そこで、父親と一緒に夜学の「ユーハイム学校」を作って、2年間通えば高校卒業の社内資格を与えろとし、やがて採用も高校や大学の卒業業者へと切り替えました。

67年には社員のドイツ留学制度を始めて、毎年2人ずつドイツに職人を派遣する事業を40年余り続けました。何も分からない中学出の職人にドイツ語を教えて、ドイツの菓子屋に派遣しました。それが毎年毎年増えて、百人近くなるとやはり力になります。この中から8人がコンディターマイスター（ドイツの菓子職人の国家試験）に合格しています。そのうち2人は高校卒の職人で、まさしく我々の願っている自己実現の夢が達成できた好例です。私の経営理念は、「教育学経営者」でありたいで、今も手作りの教材を作って社員教育を実践しています。」

●廣田則夫「私の経営観は、人と一緒に苦労すること」

①筑波大学の一期生になりたくて入学

「私は、筑波大学一期生です。当時は、大学自体が建設半ばで校舎がなく、入学試験も発表も茗荷谷の東京教育大学でした。入学後のオリエンテーションは、オリンピック青少年センターに集められ2〜3週間やりました。この間皆一緒に過ごしたので、学部関係なく顔も名前も覚えて仲良くなりました。一期生は皆一匹狼的で、個性的な人が多かったです。

私の入学の動機は、この「貴重な筑波大学の一期生になる」ことでした。総合大学として再スタートしたことや、入学時点で専門を決めるのではなく、2年間送ってから専門を決める学群制度にも魅力がありました。」

②「就職氷河期」の就職活動は大変でした

「就職活動のときは困りました。全く先輩がいない上に、この昭和52年頃は採用ゼロの企業が多く、戦後最悪の就職難の「氷河期」という時期でした。産業界に先輩がいないので各企業から教授宛の割当の求人もなく、本当に困りました。その年代の人たちが63歳となり、会社を卒業する時期と言うことに因縁を感じています。」

③一緒に苦労するのが本物のグローバル人間

「会社での一番の思い出は、97年に片道切符の形で放り出された10年間の中国駐在で、まさに鳥流でした。担当は人事が多く、中国でも人事担当でしたが、海外で人をマネージするとは、実は人と一緒に苦労するということでした。日本人は、残念ながらグローバルイゼーションができてなくて、欧米などに行くと妙に怖じ气づくくせに、東南アジアなどに行くと逆に偉そうになる人が多い。そういう島国根性がよくないと海外で感じました。



筑波大学にはたくさんの留学生が来ています。その留学生は帰国後、それぞれの国で筑波大学OBとして活躍しています。海外でそういう人たちに会えると、筑波大学の裾野の広さを実感します。」

二、「産業人倶楽部の役割と展望」について

——河本さんが関わってきた「茗溪経済倶楽部」と、廣田さんが関わってきた「筑波みらいの会」が合同する形で「茗溪・筑波産業人倶楽部」が発会しますので、それぞれの立場から、この産業人倶楽部の今後期待される役割とこれからの展望について話していただきました。

●廣田則夫「学生の自由な発想を支えていきたい」

「筑波みらいの会」は、6年前に発足し、会員数は50名と小規模ですが、自由に集まるクラブです。筑波大学が産業界に目を向けその組織化を考え、OBの起業家や企業でリーダー的立場の方に声をかけて始めました。

筑波大の卒業生にはこれからの産業界を牽引する人材になってほしいと考え、起業家マインドをもった人材の養成を目指して活動しています。具体的には、学生の起業の推進、アントレプレナーの推進の事業をしています。筑波クリエイティブキャンプを4年前に発足して、筑波大の学生の中から起業家志望者を集めて、その人達に我々の会員がメンターとして夏休みや土日にメンタリングして、秋の学園祭前後に発表会を開いています。発表会には投資家が参加して、優秀なものには投資家からの活動資金やみらいの会からクラウドファンディングを立ち上げ資金調達をしたりするほか、大学の中の連携渉外室の協力で学生の起業家が活動できる場所を提供してもらっています。また、筑波クリエイティブキャンプジュニアで、高校生の起業活動も支援しています。

LINEの前社長で現在C-channelの社長である森川亮さんなどの、経験あるオーナーにも加入していただき、一昨年から筑波大学の授業として単位が取れる活動にもなっています。現在、皆多忙でメンターが集まりにくいことや学生との交流が減っていることが課題ですが、筑波大創立50周年も近いので、活動を続けたいです。

みらいの会としては学生へのアプローチに力を入れて行きたいので、学生がいろいろな自由な発想ができるようなきっかけを与えて欲しいと考えています。」

●河本武「茗溪と筑波が合体し、筑波の価値を高めん」

「茗溪経済倶楽部」は、25年ほど前にマスコミ人が結成した経済人のクラブから、一般企業の人々も加わって、異業種交流や情報の交差点の役割を果たしてきました。代表は、講談社、日刊現代の専務をされた鈴木教亢さんで、年2回勉強会を開いてきました。新春講演会では、長年野村総研副社長の林健二郎さんに講演をしていただき、クリスマス会や国内・海外の旅行を一緒にして茗溪の結束を深めてきました。

今回、産業人倶楽部が発足したので、教育界と産業界を二本の柱として、東京教育大と筑波大の卒業生の連携を密にし、筑波大学の存在価値を高めていきたいです。茗溪会は、教育界では伝統的に存在価値が高かったが、産業界をみると他大学に比べて連携が弱く、存在価値が認識されていないので、実力通りの認知度を上げたいものです。私も東京教育大学の卒業生は高齢化が進んでいるので、今のうちにバトンタッチをして、筑波大学の価値を上げていきたいものです。

筑波大学には、産業界でもリーダーといわれるように存在感を高めてほしいものです。どうも筑波大の卒業生は、上司運に恵まれず、産業界では同窓意識が薄いように見えます。講演会や親睦会を通じて交流を深め、「情報の交差点」を作って切磋琢磨し、同窓のよしみを結び、茗溪出身の社長経験者を講師にして「半学半教」の精神で勉強会を開いて、それぞれのレベルアップとモラルアップを図って、筑波大学の価値を世に問いたいものです。茗溪と筑波大学が合体するのは今です。今やらないとこれままでのことが消えてしまうのではないかと危惧しています。ぜひこの機会を生かして欲しいと願っています。」

三、「筑波の学生に言っておきたいこと」について

●河本武「人生の結果や成功の鍵は、考え次第だ」

「成功するのは「あほかしこ」、「かしこかしこ」は」



「私の知る東京教育大学出身者は真面目な人が多く、真面目すぎる傾向もありました。俗に、人間には「かしこかしこ」、「あほあほ」、「あほかしこ」の4つのタイプがあつて、産業界で成功する人は「あほかしこ」だといえます。営業職では「あほかしこ」でないと可愛がってもらえず、一見阿呆のようだが

が実はすごく賢いという人材です。私の会社にも東京教育大出身者がいましたが、やはりこの人達は「かしこかしこ」でしたので、営業には向いていませんでした。ただし、ドイツに2年間留学させてみると地頭が良く、もの凄くドイツ語が上手になります。また、課長のころはパツとしないが、部長になると凄く力を出し始め、取締役やライン長になるととんでもない力を発揮するようになります。どうも重しがとれると本領発揮するようで、農学部と文学部出身でしたが、ミニマムエッセンシャルズの力があると実感しました。よく「ポストが人を作る」というので、ぜひポストに就いて力量を発揮して欲しいと思います。筑波大の卒業生も同じ気質をもっていると思います。」

「人生の結果・仕事の成功」考え方×熱意×能力」

「京セラの稲盛和夫氏は私の経営の師です。氏の成功の方程式「人生の結果・仕事の成功」考え方×熱意×能力」について、熱意と能力にはそれぞれ1点から100点までであるが、考え方にはマイナス100点からプラス100点まで

あるといえます。怒りや嫉妬や恨みなどの否定的な思いや想念をもつとマイナスになっていくので、能力や熱意があっても、考え方が悪いとその結果はどんどん悪くなります。

明治大学バスケット選手から大丸百貨店に入社した山本良一さんは、考え方で仕事や人生の結果を変えた人です。レジでも掃除でも何でもバスケットのように本気で取り組んでいるうちに周りから認められ、百人抜きの社長になりました。また、最近上場したMTGの松下剛さんは40歳代と若いですが、幼少期に松下さんの養子になって高校を卒業させてもらった後、トヨタに就職してトップセールスマンとして3年間で億に近い貯金をして、それを元手に起業して20年余りで上場しましたが、「将来は1兆円の利益を目指している」と公言するなど、前向きな考え方で成功した好例です。筑波の学生にもこのような考え方をもち、チャレンジして欲しいものです。」

● 廣田則夫「筑波はグローバル。茗溪会もグローバルに」

〈筑波の強みは、グローバルな環境〉

「筑波大生は、北海道から沖縄まで全国各地から集まっている上に、留学生がたくさんいてグローバルになって、色々な化学反応が期待できる環境にあります。」

みらいの会に参加している学生の中には、医学専攻OBで病院経営者や起業家の人、体育OBの起業家もいて、非常に多種多様です。今の時代「大企業就職＝成功」ではなく、むしろ成功の鍵は、企業に入ってからどう伸びていくかです。」

〈神輿に乗る人でなく、担ぐ人間に〉

「戦争で焦土と化した三井物産の跡地に社員達が集まって、焼け残った「三井物産」の看板を見つけ再建を誓ったとき、「俺たちは御輿を作った担ぐけど、乗っかられちゃ困る。乗るつもりは奴は来るな」と言ったといえます。企業に入ってもそれに頼るのではなく、独立心を持ってやっていかないと成功しないのです。」

私が中国に行った97年頃、まだ中国にメーカーもなくて心細かったとき、筑波大OBにばったり会いました。「たまに会うか」から、段々膨らんでいったのが北京茗溪

会です。自然発生的な飲み会が段々成長して、留学生も含めて色々な人が加わってきました。留学生は繋がりがあっているので、組織化すべきです。グローバルな組織を産業人倶楽部の中で作り上げて、筑波大学の学生、OB、海外の仲間達が色々な形で繋がるネットワークにしていけたらと思います。SNSなどを活用して、情報を発信しあって欲しいと思います。ちょうど筑波大学が50周年を迎える、創基50年というグッドタイミングにこの倶楽部ができることに意義があります。」

——お二人の意欲的な発言に触発されて、フロアからも産業人倶楽部の今後の見通しについてなどの質問や、地方の産業人にも参加できる工夫をしてほしいといった要望も出された後、江田理事長から助言がありました。

◆ 江田昌佑理事長の助言「教育と産業の二本の柱を」



「各県で毎年開かれていた茗溪会の総会は、確かに教育界の人たちの集まりになっていくようです。そのため、15年ほど前から、教職以外の人の参加をめざして、講演会を開いたり、講師のデータベースを作ってみたりと工夫しましたが、どうも教員の集まりの様相から変わらず、教職以外の人が参加しにくい空気もありました。」

茗溪会の代議員総会でも全国を8ブロックに分けて懇談会を行って、教育界以外に産業人の会の柱を作るべく様々な検討を進めています。産業人の会なので、首都圏だけでなく、近畿圏、中京圏、北海道、東北圏などにも拡大したいです。11月には仙台に行って議論を始めたいです。名古屋を中心とする中京圏、近畿では昨年会合を持ち、今年は岐阜で2回目を開きます。さらに、四国・中国、九州・沖縄についても、先日は福岡に行き、個人的な人脈を使い組織化を依頼しています。こうして、この5、6年で何とか組織化を進めたいと考えています。産業人が異動したとき、すつと入れる産業人の組織がそ

こにあればすぐに連携できます。茗溪会は教員の組織で、前身校の同窓会だと考えている学生の意識を変えたいです。茗溪創基50年のこの時期に、教育界ともう一つ産業界の太い柱を立てて、勢いを出していきたいものです。

私の大学の同級生に、ロサンゼルスオリンピックの女子バレーボール部監督だった山田重雄君がいます。彼は、「バレーボールを指導していて、一時教育を投げ捨てて、純粋に技術指導者、監督としてやってきたが、やっぱり成功させるには教育が必要だった。今になって捨てようと思ったものが必要だと分かった」と、亡くなる直前に語っていたことが強く印象に残っています。

河本さんもユーハイムを背負ってこられました。やはり教育だと教育的な手法で会社を運営されています。今の筑波は、歴史的には師範学校、高等師範学校、文理大学、東京教育大学ときていますので、教育は消えませんが。その教育も生かしながら、産業人倶楽部として発展していったほしいと願っています。それに同窓会が参画していきたくて考えています。」

第二部・懇親会 ——交流とネットワークづくりを

——続いて、井口武雄茗溪会副会長（三井住友海上火災保険（株）名誉顧問）の第二部開会の挨拶の後、各地でその地位を築いてきた5人からスピーチがありました。

● 原田茂樹（常陽コンピュータサービス総務部長）

「社内の仲間づくりから社外の仲間づくりへ」



「教育界以外の茗溪会員にとって、今回大変心強い組織ができると期待しています。初任の地で支部総会に出席すると、参加者の大半は高校の教員で、総会後の懇親会では広い座敷に車座になつては学校の話などで盛り上がり上がっていて、私の居場所はなく早々に退席しました。社内では、東北大や早

稲田・慶応などの同窓会は非常に活発でしたが、茗溪会はありませんでした。10年ほど経って、筑波大卒業生が10名を超えたので社内同窓会を作りました。今は百名を超し非常に活発です。定期的に集まり、顔を合わせてからは仕事も円滑に進むようになっていきました。産業人倶楽部ができると、従来の社内での交流が社外の方々との交流と広がるので、OB会のない寂しさから大きく改善されると期待しています。」

●河野隆二（神奈川工科大学常務理事）
「心許せる同窓の異業種交流会に興味あり」



「私は、旺文社に8年、研数学館に15年、神奈川工科大学に25年と産業人として働いてきました。教育畑で働いていましたが教員の経験はありません。大学も厳しい企業的な発想や意識で

動いていないとやっていけないと痛感しています。本学には、教員には茗溪会員がいるが、事務職や経営陣には皆無なので入ってほしいと思っています。また、心許せる同窓の異業種交流会に興味があるので数多くやっていただきたいと思います。」

●荊華（三協インターナショナル代表取締役）
「上海にも北京にも筑波の仲間が」



「私は、四川大学卒業後中国の研究所に10年近く勤めた後、筑波大学院の経営政策研究科に入り2000年に卒業しました。筑波大学を卒業した妻と二人で三協インターナショナルを作り、日中のビジネスコンサルタントと日中貿易に従事しています。私たち夫婦の夢は日本の架け橋となることです。筑波大学の留学生として大学に恩返ししたいので、日本留学を考えている人がいれば、まず筑波大学を紹介

しています。私はつくば市に住みネットワークを大切に、筑波大学の学長を囲む会にも参加し、筑波大卒業生経営者の会や筑波みらいの会の会員にもなっています。私は中国東北の瀋陽出身で、瀋陽の校友会に参加しています。また、中国に出張する度に上海の筑波大学同友会、北京の同友会のメンバーと集まります。この産業人倶楽部ができるとより大きなネットワークができて、日中の産業も発展することを期待しています。」

●竹村和也（セイコーエプソンAC事業推進部）
「筑波大学も知財収入で頑張ってみては」



「昭和52年入学の第三学群一期生です。当時は周りに何もなく長靴なしでは歩けませんでした。基礎工を卒業してセイコーエプソンの前身信州精器に入社し、NECの互換PCの品質保

証関係の仕事をしました。その後、海外製造への転換期に、韓国、台湾に赴任し調達関係の仕事を経験し、2011年からはAC事業推進部で、財務や税務の会計ソフトのマニュアル作りやサポートを担当して、来年定年です。その間、長野県副支部長として毎年総会を開いていますが、やはり高校の先生方の集まりという印象で、確かに企業人が入りにくい空気があります。ところで、日経新聞の知財収入のランキングによると、東大、京大、大阪、東北ときて、筑波大は30位でしたので、もう少し頑張つてほしいなと思います。実はセイコーエプソンにも知財本部があつて、本部長は筑波大基礎工の卒業生です。ので、力になればと考えています。」

●角田英樹（茨城県会計管理者）
「茨城のように産学官の連携を」

「筑波大からは茨城県庁に毎年20数名入り、総勢50人余で県庁職員の1割を占めていて、県の総務部長や教育次長など要職に就く者も出てきています。また、県全体の組織である茨城茗溪会も毎年総会を開いて、教員が7



割程度ですが、県庁職員に加え、常陽銀行、日立製作所、関彰商事など地元企業の方々と民間と行政が合わせて3割ほど参加して、異業種交流をこの20年位やってきています。産学官の連携が必要なる事業などには、この人間関係が生きて円滑に進んでいます。産業人倶楽部の発足がこの茨城県での動きの全国版になるといいと思います。」

——この後懇親会となり、名刺交換や懇談など盛んに交流が行われました。最後に、全員が輪になって宣揚歌「桐の葉」が斉唱され、発会式は盛会裏に終了しました。

なお、この日集まった「西日本豪雨」の義捐金7万5千円は、事務局から被害の大きかった岡山、広島、愛媛の各支部に送金されました。



参加者による「宣揚歌」斉唱

平成30年

「追悼のつどい」

茗溪会館で開催

「追悼のつどい」は、今年も大塚の茗溪会館において、9月1日(土)に開催されました。

昨年から本年夏までにご逝去された会員のご遺族の方々に連絡いたしましたところ22家族、40名のご参列をいただきました。本会からも多数の理事・委員が参列しました。遺影のみの参加の27名を加えて48名の遺影が飾られた式場で午前11時に開式され、参列者一同が遺影に黙祷後、江田昌佑茗溪会理事長が「追悼の辞」を述べられ、筑波大学長代理として出席された佐藤 忍副学長が来賓の挨拶をされました。その後、一同が献花し、式は終了しました。

式典終了後、茗溪会館写真スタジオにて集合写真撮影の後、場所を二階「茗溪の間」に移して12時より14時まで「懇談会」が開催されました。江田理事長の挨拶のあと、懇談の席がもたれ、遺族の皆様からスピーチをいただきました。以下にその一部を紹介します。誌面の都合上、全ての方をご紹介しますことをお許しください。

故・金子 泰三(昭和24年文五)

長男 金子宜正様



父は高等師範を昭和22年に卒業し、それから文理大の方へまいりました。専門は漢文で、小さい時から漢文の独特な雰囲気の子供たちに伝えながら生活しておりました。ある時は学校へ行く前に論語の講義を家で行ったことがあります。これは私の大事な思い出の一つです。教育ということに非常に熱心でした。その影響を一番受けたのが私だったと思います。私も筑波大学を経て教員になりましたので、二人で茗溪だねと言って酒を飲みながら教育談義をよくしました。その教育の話をする相手がいなくなったのがとても寂しいです。父の何を措いても学生を大事にする教育への熱意が忘れられません。

故・江間 實(昭和31年教大農)

奥様 江間みつ子様



夫は教師の仕事が好きで最後は県立高校の校長として退職しました。在職中は生物学を教えながらテニス部の顧問をしており、地元のソフトテニスの会長もしていました。洋ランの栽培も好きで家に温室を作ったり、地元の自治会長としてボランティア活動をしたりしていました。夫は出身大学をとっても誇りに思っており茗溪会に出席するのを毎年楽しみにしていました。同窓の方々がお心の支えになっていたのではないかと推察します。

故・西海 隆治(昭和31年教大農化)

長女 西海聡子様



父は秩父市の秩父農業高校で食品化学を教えていました。私は父の学校の文化祭で出される手作りクッキーやお味噌などを買うことなどが楽しい思い出として残っています。家庭でもいろいろなものを手作りしていました。ブドウも作ったりしていました。退職後は家庭菜園などで楽しんでいました。父は教育大卒を誇りとしていました。茗溪会も大切にされていて、季刊誌を大量にスクラップのようにして楽しみにしていました。

故・野々山 時生(昭和31年教大農)

長女 神成洋子様



父は教育大時代からバスケットボールに力を入れており、バスケットボールに人生を捧げたという感じでした。高校の教師をしながらバスケットボール部の顧問をしていて、殆ど家に居ませんでしたが、私は夏休みなどは父の学校のプールで泳いだり、バスケの練習を観たりして過ごしました。定年後は孫の面倒をよくみてくれました。生前父は自分のことをしゃべる人ではなかったのですが、こういう会で父の姿を垣間見ることができたのをとても嬉しく思います。

故・寺田 努(昭和33年教大英)

奥様 寺田理子様



夫の合格発表を見に行ってくれた先輩が、合格は無理だと思っていたらしくして第二希望の補欠の欄から名前を見て回ったという笑い話を聞かれました。卒業後、京都の府立学校に英語教師として赴任しました。教育大で学んだことを大変誇りとして茗溪会を大切に思っていましたので、今日の追悼会に名前を連ねさせて頂いたことを大変喜んでいと思います。今一度この街と一緒に歩きたかったのですがその前に帰らぬ人となりました。

故・馬場 昭亘(昭和34年教大林)

奥様 馬場榮子様



主人は教育大が大好きな人だったので、この会にはお前じゃなくて俺が出席するのだぞと云うと思うのですが、遺影となつて参加させてもらってさぞかし喜んでいいるのではないかと思います。亡くなる一週間くらい前にどんな人生だったかと聞いたところ、男として大変面白い人生だったと申していました。主人は私の同級会にも一緒に顔を出すような皆から愛される人でした。教育大林学科に在学中の青春時代が最高に楽しい時だったように、お仲間と一緒に「林友会」という冊子を一年間に一回発行しておりました。そのために集る時は多分楽しい青春時代に帰っていたのではないかと思います。

故・前川 智宏(昭和57年筑一農)

姉 渡瀬裕子様



弟は不慮の事故で亡くなりました。この会へは弟の送った人生をたどってみたいという思いから参加しました。卒業後は鹿児島へ帰り、脱サラ後、鍼灸師になり、仕事をしながら実家の畑を守っていました。皆様の話聞いて、私は生きる力をここで頂いたと思っています。

平成30年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

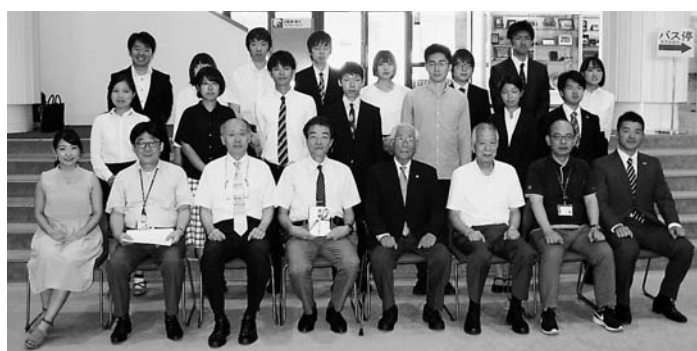
	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
筑波大	清 水 論 (59筑体)	立 山 雅 博
北海道	大 沼 寛 (47教大武)	宮 下 聡 (57筑体) 鵜 野 和 憲 (07筑体)
青森	花 田 慎 (56筑体)	工 藤 誠 司 (09筑体) 五十嵐 喜代敬 (09筑体)
岩手	佐 藤 有 (57筑二農)	清 水 茂 幸 (59筑体) 上 濱 龍 也 (62筑体) 澤 村 省 逸 (62筑体)
宮城	小野寺 清 隆 (55筑体)	齊 隆 (57筑一自) 山 崎 健 二 (02筑体)
秋田	越後谷 真 悦 (55筑体)	小 林 大 輔 (11筑一自)
山形	津 田 浩 (51筑一自)	仁 藤 誠 (02筑体) 羽 角 哲 弘 (05筑体) 芦 野 浩 二 (07筑一自)
福島	新 田 銀 一 (50教大教)	森 和 茂 (59筑一自) 日 高 郁 子 (58筑一自) 大 槻 文 彦 (10筑一自)
茨城	鈴 木 一 弘 (58筑修教)	太 田 泰 助 (11筑修芸) 竹 内 智 則 (10筑修教)
栃木	若 杉 俊 明 (57筑一人文)	宮 澤 昭 二 (02筑一自) 今 井 和 彦 (06筑一自)
群馬	坂 田 和 文 (56筑体)	高 田 博 基 (60筑体) 佐久間 秀 人 (58筑体) 笠 原 惠 太 (08筑体)
埼玉	前 島 富 雄 (47教大土木)	青 木 勇 藤 (55筑一人文) 益 子 篤 行 (57筑一人文) 鈴 木 徹 也 (58筑一自)
千葉	百 瀬 明 宏 (55筑一人文)	大久保 利 宏 (52教大健) 大 木 喜 信 (07筑一自) 田 口 亜紀子 (08筑一自)
東京	高 橋 基 之 (53筑一自)	德 田 安 伸 (55筑二農) 浅 井 一 郎 (55筑一人文)
神奈川	大 畑 多津雄 (52教大理)	大 石 進 (56筑体) 添 野 龍 雄 (57筑二農) 中 弥 貴 晴 (49教大農化)
山梨	金 塚 正 貴 (57筑一自)	長 沼 武 志 (05筑一自) 花 輪 恭 子 (11筑一人文)
長野	田 澤 直 人 (57筑一人文)	箕 輪 健 二 (58筑体) 高 野 浩 志 (14筑修教) 上 原 一 人 (13筑修体)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
新潟	永 井 成 一 (41教大法政)	夏 見 康 彦 (02筑三情)
富山	神 田 聡 (58筑修教)	中 村 謙 作 (62筑一自) 安 村 良 紀 (18筑三工基) 箱 江 典 子 (23筑博数)
石川	田 井 友 章 (59筑体)	松 本 彰 (50教大體) 神 田 康 (15筑体) 近 岡 岳 則 (17筑二人間)
福井	畑 中 正 美 (56筑一自)	橘 慶 成 (08筑芸) 松 田 充 弘 (14筑一人文)
静岡	齋 藤 浩 幸 (58筑二農)	綾 部 信 明 (58筑体) 遠 藤 大 貴 (27筑修教) 鈴 木 由美子 (61筑一自)
愛知	村 松 利 之 (53筑体)	高 畑 尚 弘 (58筑二生) 向 坂 嘉 一 (04筑体) 米 津 利 仁 (04筑二農)
岐阜	大 橋 則 雄 (57筑二人間)	増 田 智 至 (63筑二農) 蒲 尚 胤 (02筑一人文)
滋賀	町 田 登 (47教大健)	藤 江 隆 史 (08筑体) 松 林 基 之 (07筑体) 桂 本 尚 樹 (62筑体)
三重	阿 形 克 己 (57筑体)	若 宮 一 哉 (06筑一自) 加 藤 英 紀 (15筑一自) 山 北 正 也 (03筑一人文)
京都	川 合 英 之 (56筑体)	川 合 寛 明 (59筑体) 三 橋 利 彦 (58筑体) 遠 山 秀 史 (61筑一自) 藤 原 秀 規 (05筑体) 柳 俊二郎 (13筑修体) 奥 村 典 夫 (61筑修教)
大阪	松 本 秀 範 (53修林)	戸井田 克 己 (59筑二比) 北 邨 淳 (19筑体) 大 橋 一 郎 (62筑体)
兵庫	中 野 憲 二 (56筑一人文)	林 啓 太 (56筑体) 千 脇 久美子 (05筑修生環)
奈良	谷 垣 康 (53筑一人文)	井 上 德 之 (58筑一自) 岩 佐 泰 造 (13筑体) 栗 本 善 弘 (10筑体)
和歌山	土 肥 二 郎 (57筑一自)	川 口 勝 也 (01筑体) 岡 本 規 (05筑体) 梅 本 将 志 (12筑体)
鳥取	小 倉 健 一 (53筑体)	美多賀泉 孝裕 (10筑体) 出 雲 大 輔 (24筑体)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
島根	境 英 俊 (59筑修体)	西 村 覚 (01筑修体) 塚 田 真 也 (21筑博数理) 清 水 悠 (22筑体)
岡山	長 尾 隆 史 (55筑体)	黒 住 伸 吾 (56筑体) 水 川 敬 介 (63筑体) 近 藤 真 妃 (06筑体)
広島	山 成 宣 彦 (40教大健)	大 辻 明 (47教大體) 山 下 勝 也 (58筑体) 井 藤 幹 治 (55筑体)
山口	吉 本 晃 (54筑二人間)	兼 行 剛 士 (58筑修体) 内 田 忠 範 (57筑体) 藤 井 功 (57筑体)
徳島	小 原 史 明 (59筑二農)	池 渕 茂 (58筑二比) 北 條 伸 吾 (62筑一人文) 田 北 直 樹 (05筑体)
香川	山 本 主 税 (01筑体)	河 合 雄 太 (07筑体)
愛媛	八 木 俊 博 (57筑体)	渡 邊 洋 人 (59筑三社工) 山 本 隆 祥 (07筑体) 森 川 大 和 (16筑二人間)
高知	下 坂 速 人 (53筑体)	手 林 慎 一 (10筑博農) 山 本 英 作 (03筑二比) 野 田 智 洋 (62筑体)
福岡	永 沼 真 紀 (57筑体)	稲 富 勉 (61筑体) 兒 島 悟 (07筑体)
佐賀	野 中 通 兼 (53筑体)	松 雪 誉 (61筑体) 山 田 和 人 (05筑体)
長崎	渡 邊 孝 経 (59筑体)	吉 村 史 朗 (12筑一人文)
熊本	赤 星 隆 弘 (58筑体)	前 田 茂 雅 (61筑体) 田 口 智 之 (09筑体) 上 田 晃 裕 (14筑体)
大分	渚 洋 行 (53筑体)	田 崎 弘 宣 (63筑体)
宮崎	川井田 和 人 (53筑体)	児 玉 洋 一 (02筑三社工) 川 内 健 二 (16筑二比) 森 山 あゆみ (20筑二資源)
鹿児島	原 口 和 哉 (56筑一自)	鹿 倉 貢 (57筑体) 岩 元 貴 行 (08筑修芸)
沖縄	前 門 晃 (58筑博理)	三 輪 一 義 (02筑修体) 古 堅 小百合 (12筑修理) 漢 那 洋 子 (63筑一自)

平成30年度 茗溪会学生活動支援事業採択団体等一覧

	団 体 等 名 称	対 象 事 業	支援額 (千円)
1	斬桐舞	YOSAKOIソーラン	90
2	筑波大学天文研究会投影機製作班	次世代光学式プラネタリウム投影機の開発	100
3	体育会オリエンテーリング部	第38回筑波大学オリエンテーリング大会	90
4	筑波大学体育会バドミントン部	インターフロー2018	110
5	管弦楽団	第84回定期演奏会	90
6	つくばろぼっとサークル	ロボットコンテスト参加に向けた活動、および会員間での技術交流	110
7	学び場さくら塾	学び場さくら塾	100
8	筑波学生文芸賞運営委員会	第十一回筑波学生文芸賞	110
9	ふるさとつくば ゆいまつり 実行委員会	第8回 ふるさとつくば ゆいまつり	100
10	食と酒 東北祭り実行委員会	第5回 食と酒 東北祭り	110
11	筑波大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チーム	筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト	290
12	つくばミュージックプロジェクト	筑波大学学園祭 LIVE2018	90
13	つくばリサイタルシリーズ実行委員会	つくばリサイタルシリーズ	100
14	つくば院生ネットワーク (TGN)	筑波大学内外における異分野・科学コミュニケーションの創発	90
15	大林 格	「『休学』を選んだ日本人」の本出版プロジェクト	80
16	古畑 翼	大学同窓会組織の国際比較のための現地調査	80
17	HSCaT	学内(教育・研究棟及び宿舎敷地内)に生息する猫の保護・管理及びTNR(去勢・避妊)活動	110
18	筑波大学応援部 WINS	体育会所属団体及び各種ステージでの応援活動、スポーツデー、宿舍祭などの学内行事の広報活動、つくばマラソンなどのつくば市内の行事応援活動	150
総 額			2,000



茗溪会学生活動支援事業

助成金
200万円
を交付!

去る7月27日、学生活動支援事業選考委員会(委員長:阿江副理事長)が開催され、18件の申請があり申請どおり全件が採択されました(表参照)。これを受けて、8月10日、目録贈呈式が大学会館第5会議室で行われ、江田理事長から佐藤副学長に目録が贈呈されました。その後、同室において佐藤副学長臨席のもと、採択された団体等への助成金交付式が行われ、採択された団体等の代表から受賞の喜びが述べられるとともに具体的な活動内容が紹介されました。続いて、交付式参列者による記念の集合写真等の撮影が行われました。

学生活動支援事業は、筑波大学の学生団体又は個人が課外活動として取り組んでいるイベント等の企画に対して、計画段階で審査し助成金を支給するものです。これは健全で優れた成果が期待されるスポーツ、芸術、文化活動、ボランティア、地域貢献等の学内におけるサークル活動やNPOを含む学外での活動が対象になっています。

また、この事業は、今年度から、原則として大学その他から支援を受けていない団体又は個人を優先すること、申請する団体の構成員又は個人が茗溪会員であるかどうかや申請団体の構成員の入会率を考慮すること、また、支援の必要性や社会・地域・大学運営への貢献度を評価することなどの各項目に留意して総合的に判断し選考されました。

平成30年度

茗溪会学生生活動支援事業

採択団体の紹介

◆斬桐舞

年齢、性別、国籍、障害・経験の有無に関わらず、みんなでYOSAKOIソーランを楽しむ「ユニバーサルソーラン」というコンセプトを掲げ活動しています。茨城近辺を中心にたくさんさんのYOSAKOI祭りに参加し、遠方では札幌や浜松でのお祭りにも参加しています。また、つくば市近辺の老人施設や、幼稚園でのステージ、小学校での指導なども行っています。2019年3月3日(日)には、2013年に開催された第一回定期公演に続き、第二回定期公演を開催します。10周年を迎えた斬桐舞の成長した姿、そして10年間の感謝を込めて演舞します。

◆筑波大学天文研究会投影機製作班

私たちはプラネタリウムを映す際に使われる投影機を作成しています。ただ、投影機といってもいくつか種類があり、レンズ式のを新たに作るうと3年前から始動しています。2年間かけ映画というフィルムのようなプラネタリウムのための恒星原板を作成する装置を製作しました。今年を実際に投影する機械について3DCADによる設計、旋盤やフライス盤による機械加工を行なっています。今回頂いた支援はその材料を購入するのに使わせていただくつもりです。完成した際にはぜひ一度、雙峰祭でご覧いただきたいです。

◆体育会オリエンテーリング部

筑波大学体育会オリエンテーリング部は、オリエンテーリングの技能、精神を習得することで自己を高めていくとともに、オリエンテーリングの普及や発展にも力を入れて活動しています。技能面では学生日本代表に選出される部員をここ数年安定して輩出し、全国でも実力を示していると言えるでしょう。また、毎年「筑波大学オ

リエンテーリング大会」を開催し、全国から参加者を集めるだけでなく、体験会を併設することで地域への競技の普及にも努めております。今年度は茨城県日立市にて1月27日の開催を予定しております。

◆筑波大学体育会バドミントン部

バドミントン部では、①異文化理解②自文化の相対化③コミュニケーション能力の向上④ホスピタリティ精神の向上⑤バドミントンに関する研究と普及という目的のもと、香港大学バドミントン部と毎年の交流を40年近く続けています。今年は日本での開催年であり、バドミントンはもちろん観光等様々な活動を通して日本の歴史や文化を感じてもらえるよう企画し、英語でのコミュニケーションに苦心しながらも交流を深めることができました。今後もこの交流活動を継続し、国際的な視野を持ったフロンティアナリーでありたいと思います。

◆管弦楽団

当楽団は1974年創団で現在団員100名を数え、筑波大学内では最大規模を誇る課外活動団体の一つです。春・秋に活動の中心となる定期演奏会を、冬にプロムナードコンサートを開催しているほか、各パート・セクションでのアンサンブルコンサートやソロコンサート、依頼演奏などの活動、大学・大学院の卒業式・入学式における奏楽も行っています。常任指揮者を置かず、定期演奏会には内外で活躍中のプロの指揮者をお招きし、団員の演奏技術・音楽性の向上のため、各パート・セクションでトレーナーのご指導を受けています。これからもより良い音楽を追求しながら、地域の音楽文化のさらなる発展に貢献しようと団員一同精力的に活動しています。

◆つくばろぼっとサークル

つくばろぼっとサークルは、ロボットに関する情報交換・技術向上を目的としたサークルです。週1回のミーティング及び各種ロボットコンテストへの参加が主な活動で、ものづくりに興味がある学生の交流の場となっております。当サークルは毎年NHK学生ロボコンとつくばチャレンジに参加しており、NHKロボットコンテス

トは本戦出場、つくばチャレンジは完走が目標となっております。また、ロボットコンテストの他にも有志共同プロジェクトというものがあり、有志が共同で自由にもものづくりを行っております。

◆学び場さくら塾

学び場さくら塾は、つくば市に住む小学生から高校生までの子どもたちに無償で学習支援をおこなうボランティアサークルです。春日・桜・台坪各校舎での週に1回ずつの活動に加え、年に1回の合宿、不定期に学生講師の専門を生かした授業なども行っています。「子どもたちのためになることをひとつでも多くする」「筑波大学と地域をつなぐ」私たちはそんな熱意をもってこれまで活動に臨んできました。そしてこれからも、そのような団体であるべく力を尽くしていきます。今後ともご支援よろしくお願ひ致します。

◆筑波学生文芸賞運営委員会

私たちは「学生の、学生による、学生のための文芸賞」をスローガンに、つくば地域の学生を対象とした文芸賞を運営しています。作品の募集対象は勿論、賞の運営や作品の選考などもすべて学生の手で行っています。その活動の主目的は、つくば地域における学生の文芸活動の活発化と、その活躍の発信です。受賞作品は冊子にまとめて筑波大学の学園祭にて配布している他、筑波学生文芸賞のホームページでも公開していますので、興味を持って頂けたら、ぜひ読んでくださると嬉しいですね。

◆るるるつくば ゆうまつり実行委員会

ふるさとつくば ゆいまつり実行委員会は、つくばの魅力的なヒト・モノ・コトを発信しています。つくばの学生と住民が、地域の良さを互いに共有することで、①垣根を越えた関係を築くこと、②共に心豊かな暮らしと環境、空間を創出すること、を目的とした団体です。毎年3月につくばセンター広場で開催するお祭りや、年間を通じた様々なイベントにより、地域と人、人と人との繋げる活動を展開しています。これからも、ゆい溢れるイベントを企画していきますので、皆様もぜひご参

加ください！

◆食と酒 東北祭り実行委員会

食と酒 東北祭りは、東北自慢の食と酒をその場で味わうことのできるお祭りです。私たちは、「魅力溢れる東北」を体感できる場、人と人が繋がる場を通して、東北全体の発展を願い、応援をすることを最大の目的としています。食と酒東北祭りの原点でもある、震災後の東北の人々との出会いから「東北に関心を抱き続けること」が復興への架け橋になると考えました。だからこそ私たちは、震災から7年経過した今もなお「東北」にこだわりたいと思い、活動しています。

◆筑波大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チーム

筑波大学陸上競技部長距離駅伝チームは毎年1月に行われる箱根駅伝出場を目標として活動しています。箱根駅伝へ出場するためには、箱根駅伝予選会の通過をしなければ行けません。私たちは練習や大会、合宿など数え切れない程の鍛錬を積み重ね、予選会通過に向け挑み続けています。箱根駅伝への取り組みを通じて、将来、長距離トップアスリートの育成のみならず、社会の様々な分野で活躍できる学生へと成長を目指していきます。そして、多くの皆様の「再び箱根駅伝へ出場してほしい」という期待や想いを叶えられるようチーム全員で頑張ります。皆様の応援、ご支援の程よろしく願います。

◆つくばミュージックプロジェクト

つくばミュージックプロジェクトは、「つくばを音楽で楽しく」をモットーに活動している団体です。筑波大学は、学園祭でプロのアーティストに演奏してもらうという文化がありませんでした。そこで、音楽好きの有志が集まり、自分達で学園祭にプロのバンドを呼ぼうと活動しているのが私達です。資金も、ここ数年は茗溪会に支援をいただいたきつつ、自分達で学園祭などに出店をだし資金繰りをしています。最近では地域での音楽イベントも開催するなど活動の幅を広げています。

◆つくばリサイクルシリーズ実行委員会

「つくばリサイクルシリーズ」は、第一線で活躍するプロ奏者による演奏会を学生無料、一般には低価格で開催することにより、クラシック音楽への関心の入り口になることを目標に活動する団体です。企画・広報だけでなく、昨年度からは企業協賛の募集やクラウドファンディングなどを行うことにより、資金集めの段階から学生が中心となってコンサートを運営しています。第7回となる本年度は、読売交響楽団から金管五重奏を迎えます。来てくださる方々の心に残るあたたかなコンサートを目指して、委員一同邁進してまいります。

◆つくば院生ネットワーク(TGN)

「つくば院生ネットワーク(TGN)」は筑波大学や学園都市内の研究機関に所属する大学院生がつくばの研究成果を学内および地域に発信することを目指した様々な企画を行う団体です。具体的には、研究を一般に紹介する「駅前キャンパス」、プレゼンテーションの技術を競うコンテスト「学生プレゼンバトル」、異分野の研究者の知見の交換を目的とする「つくば学会」等を企画しています。昨今つくば市では国際的な学術イベントも活発に行われ、本年は9回目となるTGSWが開催、2019年は世界の若手研究者が一堂に集まる「筑波会議」が開催予定です。このような背景を受け、本年度以降はこれまでのサイエンスコミュニケーションを拡大し、英語を用いた研究発信技術の向上支援、国際コンテストも行う予定です。

◆大林 格

この度、休学経験者らによる「休学」紹介書の制作と出版を企画致したく、ご支援いただきました。本企画は、全国の休学経験ある学生による寄稿書で、「休学」の世界の多様性に対する社会的理解を高め、とりわけ若い世代に対し、進路選択の一助となりうる書を提供すること、を目的に置いています。国際的に広まりつつある一方でまだまだ日本では十分に認知されているとは言えない「休学」という選択肢、大学という学びの場を離れて異なる形で多様な「学び」を得ている休学生の紹介すること、で、日本社会に大きな一石を投じます。

◆古畑 翼

私は世界や日本の大学同窓会について研究しています。同窓会を活用したネットワーク作りやファンドレイジングにおいて世界でも先進的な取り組みをしているアメリカの大学。国立大学法人化後の日本も含めた世界各国はそれを模範として様々な取り組みを進めている最中ですが、同じ発展途上の過程にいるカナダの大学での例を見に行きました。大学職員の方や現地学生へのインタビューを通して、日本の大学と比べてどのような特徴や課題があるのか、各国の文化がどう反映されているのかを調査しました。

◆HSCaT

学生宿舎は公共の場ですので、公衆衛生等の観点から野良猫が宿舎周辺を徘徊するような状況は忌避されてしかるべきです。そうした状況を、動物愛護の精神に基づいて「優しい」方法で解決しようというのが我々HSCaTの活動理念です。まず、新しい猫を発見次第、去勢手術を施してこれ以上猫が増加することを未然に防ぎます。去勢手術を施した猫は、医療機関による診察の後、もといた場所に返します。そうして宿舎周辺に放たれた猫を我々の管理のもとでお世話し、猫と人との共生を目指します。以上が我々HSCaTの活動です。

◆筑波大学応援部WINS

我々、筑波大学応援部WINSは筑波大学を元気にすることを目的として日々活動しています。先頭に立ち熱く応援を先導するリーダー部、とびきりの笑顔と元気なダンスで選手を鼓舞するチアリーダー部、楽器を武器にメロディーで追い風を作り出すアンサンブルバンド部の三部で力を合わせ、総勢77名でひとつの応援を作り上げています。活動としては各体育会応援、各種イベントの広報・盛り上げなどのステージ応援、そして雙峰祭や単独公演である桐華祭(来年1月27日)での演目披露などを行っています。

茗溪・東西南北

新潟茗溪会活動報告

新潟茗溪会は、現在479名の会員が登録されています。平成29年度から平成30年度における主な活動・予定をご報告いたします。

【平成29年度 活動報告】

・7月1日(土)新潟茗溪会総会

平成28年度事業報告、会計報告、役員改正、平成29年度事業計画が承認されました。その後、新潟県立図書館の有本教子さん(H4筑波大二卒)、水野将吾さん(H28筑波体卒)から会員発表があり、その後、懇親会を行いました。

・10月15日(日)新潟茗溪会研修会

志田哲也さん(H6筑波大体卒・十日町高教頭)と田辺直子さん(H8筑波大修地卒・燕中等教育教諭)から体験発表を行っていただきました。その後、中島郁雄さん(S55筑波大修体卒)から「先輩からのお話」をしていただきました。その後、懇談会を行いました。2月24日(土)教員志望者研修会・若手教員教育懇談会平成31年度教員採用選考に向けて研修会を開催し、学生・非常勤講師から4名の参加があり、大変熱心に受講をしていただきました。その後、教育懇談会を行いました。

【平成30年度活動報告及び活動予定】

・7月7日(土)

平成29年度事業報告、会計報告、平成30年度事業計画が承認されました。講演会では、新潟食糧農業大学学長の渡辺好明さん(S43東京教育大卒・元農林水産事務次官)から学生時代や仕事での思い出話をしていた

だき、その後の交流会でも楽しいひとときを過ごしました。また、当日はこの夏に三条で行われる野球のサマリーリーグ(東京六大学、首都大学リーグ等、1・2年生中心のリーグ戦)のPRのため筑波大野球部の現役マネージャーから説明があり、一緒に交流を持つことができました。

今後の予定としては例年通り、10月の研修会、2月の教員志望研修会を行う予定です。

最近、新しく新潟茗溪会員に加入される方の連絡が減少し、会員数が減っている状態ではありますが、様々な機会を通して本会が益々盛り上がるよう活動が続けて参りますので今後ともよろしく願います。

(文責 事務局 夏見 康彦)



新潟茗溪会総会 H30.7.7

石川茗溪会活動報告

北陸新幹線金沢開業によって、金沢―東京間の所要時間は最短で約2時間半となり、都心との両方向のアクセスはもとより、東北などからのアクセスも格段に良くなりました。そのおかげでこれまで以上に観光客をはじめ大変多くの方々が来県され、開業から3年半を過ぎた現在もその状況はほぼ変わっていません。

本県のHPでは4つのエリアごとにこんな紹介がされています。『山・里海の恵みを味わい、原風景を愛でる：能登』、『城下町から現代アートまで歴史文化に親しむ：金沢』、『霊峰白山で山歩き・絶景ドライブを楽しむ：白山』、『湯のまち散策と上質のおもてなしを愉しむ：加賀』。どこへ行ってもゆったりとした時間を過ごせることが本県の良さと言えるでしょうか。

今後、クルーズターミナルをはじめとした金沢港の機能強化整備、東京国立近代美術館工芸館の移転整備、金沢城の鼠多門・鼠多門橋の復元整備などが進められると聞いています。茗溪の皆様にも、ますます魅力いっぱいとなる石川県にぜひお越しになっていただきたいと思えます。

さて、平成29年度の茗溪会石川県支部総会・懇親会は2月27日(土)に金沢市内の「よし久」において行われました。毎年1回この時期に開催しているこの会では、参加者一人ひとりに近況報告をしていただき、懇親会の最後には宣揚歌「桐の葉」を全員で輪になって歌うというのが恒例となっています。今回は先輩方の貴重なお話を伺えたことはもちろん、若手会員から大雪に係る行政対応の苦労話なども聞くことができ有意義な会となりました。

しかし一方で、ここ数年30名前後で推移していた参加者数が、昨年度は15名と大変少ない人数となってしまいました。

この状況を打開するべく、参加者を増やすための具体的な方策を考える必要性に迫られています。どこに参加者が減ってしまった原因があるのかを分析し、その改善



石川茗溪会

策を実行していかなければなりません。連絡体制の強化や、開催時期の再考などが挙げられますが、参加者が教育関係者に偏っていたり、体育関係者が大半を占めていたりというところにも原因があるのかもしれない。平成30年度より新たに支部長に就任した田井友章氏を中心に、そういった現状を打破できるよう努力していきたいと思っています。

結びに、茗溪会のますますの発展をご祈念するとともに、今後とも茗溪会石川県支部の活動に御指導・御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

(文責 石川茗溪会支部長 田井友章)

第2回近畿ブロック代表者会議 平成30年度滋賀茗溪会総会(6月2日)から

近畿の地域組織等の代表者等が集う二つの集いは、世界文化遺産にも登録され、景勝地としても有名な比叡山「延暦寺」が臨まれる滋賀県大津市琵琶湖岸にある県民交流センターで開催された。

① 第2回近畿ブロック代表者会議

この会議は、全国で最初の第2回開催であり、多くの代表者が出席した前向きな意見交換の場であった。当日は、町田登滋賀茗溪会代表が進行役を務め、「地域組織等の活性化に向けて」をテーマとして熱心な協議が行われた。主な内容は、次の通りである。

- (一) 昨年の代表者会議で出たように、本日の講演会及び滋賀茗溪会総会と懇親会に皆が出席してもらいたい。
- (二) 今後、総会日程は、時間や講師選定について女性を含む会員のニーズにも応えていきたい。
- (三) 会員から、「会費をどこまで払っているのかを知るにはどうしたら良いのか」との質問が多い。
- (四) 総会開催案内は、郵送からメールも可能とするため、本人の同意があればアドレスを調査している。
- (五) 各地域組織等で関係者にアンケートをとる等産業界で活躍する会員の実態把握や隣接地域間での異業種交流の活動が必要である。
- (六) 副会長(産業人)を中心としたプロジェクトを立ち上げ、産業人にとって魅力ある活動のあり方について協議を進めている。

② 講演「筑波大学の今」について茗溪会理事・筑波大学副学長の佐藤 忍教授からお話があった。

その概要は、母校・筑波大学は、45年前に東京教育大学の後継として筑波の地に開かれた。その理念は、国内的にも国際的にも開かれていて、多様性と柔軟性を有する新しい大学の機能を開発するというものである。具体的には現在、国際性と学際性を兼ね備えた世界に

開かれた大学、そして体育と芸術という真に総合的な大学、しかも研究大学として全力を挙げて進めているところである。等々のお話で、参加者が母校に対する期待感を一層強くする内容であった。講演会には、近畿ブロック代表者と滋賀茗溪会総会の出席者が参加した。

③ 引き続き、滋賀茗溪会総会と懇親会が開催された。

そこには、近畿ブロック代表者も出席し、隣接地域組織間の集まりとして熱心さと和気藹々とした雰囲気の中で印象に残る仲間の交流であった。

(文責 組織委員会委員長 川田孝二)



代表者会議

講演「筑波大学のいま」



the lond ⁱⁱⁱ) **of** Iudee for drede ^{iv}) **of** kyng Heroud. And there lyth the body ^v) **of** Seynt Barbre the virgine and martyr. And there dueled Ioseph whan he was sold ^{vi}) **of** his brethetren. And there made Nabugodonozor the kyng putte ⁱⁱⁱ. children into the forneys ^{vii}) **of** fuyr for thei weren in the right trouthe ^{viii}) **of** beleue, the whiche children men cleped Ananya, Azaria, Mizaelle, as the psalm ^{ix}) **of** *Benedicite* seith.

注：i) of our lady, ii) of the land, iii) of the Jew, iv) of King Herod, v) of Saint Barbara the virgin and martyr, vi) by his brethren, vii) of fire, viii) of belief, ix) of Benedict

一方、(2)の例は中英語後期の詩人チョーサー (Geoffrey Chaucer, 1340頃-1400) の代表作『カンタベリー物語』 (*The Canterbury Tales*, 1387-1400頃) の一部である。韻文であることから、語順はかなり柔軟であるが、of句の意味と用法は現在のものとほぼ同じである。1行目には所有限定詞の *hire* 'her' が用いられている。

- (2) **Of small coral** aboute **hire** arm she bar
A peire **of** bede, gauded al with grene,
And theron heng a brooch **of gold ful sheene**,
'Of small coral about her arm she carried'
'A pair **of beads**, furnished all with green colour'
'And thereupon hang a brooch **of gold full bright**,'
(General Prologue 158-160)

4 特殊な所有構文

日本語から判断すると所有表現であることが歴然としているが、回りくどいと思われる(3)のような表現が英語には少なくない (Declerck 1991: 285)。このような表現の問題点は2つあり、一つは、矢印で示したように所有限定詞+名詞を動詞の目的語にできないのか、もう一つは、意味上は明らかに *his*, *her* という所有限定詞で表せるものが *the* となるのはなぜか、ということである。

- (3) a. He shot himself through **the** heart. 「自分の心臓を撃ち抜いた」 ⇒ shot **his** heart
b. She slapped him on **the** face. 「彼の顔を叩いた」
⇒ slapped **his** face
c. I took her by **the** arm. 「彼女の腕を掴んだ」
⇒ took **her** arm
d. He was hit on **the** head. 「頭を殴られた」
⇒ hit **his** head
e. Someone shot him in **the** back. 「彼の背中を撃った」
⇒ shot **his** back
f. A boulder fell him on **the** head. 「彼の頭を襲った」
⇒ fell on **his** head

(3)のような構文には(4)のような制約が課されているが (Declerck 1991: 285-6)、(3)の日本語訳とこれらの制約から判断すると、(3)の英文は所有表現の一種であることがわかる。

- (4) a. **the** は前置詞の後に置かれなければならない。
b. 前置詞句は身体の一部に言及するものでなければならない。
c. 身体を持ち主は文または直接目的語と同じ節ですでに言及されていなければならない。
d. 当該の人物は動詞の行為や行動の影響を受ける「被動者」 (patient) でなければならない。

そうであるならば、(3)の英文は所有関係をより明確にできる矢印のような構文になれないのであろうか。実際、(5)のように人称代名詞や固有名詞が「被動者」として「殴打」を表す動詞の直接目的語になっている例が時々生じる。ただし、いずれも身体の一部は明記されていない。このことから、被動者と身体の一部を共に提示する必要がある場合、(3)のような特殊な構文となることがわかる。(3)の例では、他動詞の目的語の *himself*, *him*, *her* はいずれも旧情報であるが、その後の場所を示す前置詞句は新情報であり、それぞれの文の焦点となっている。このような2つの情報の相違を考慮すると、新旧の情報を統合した(3)の矢印のような表現よりも、人称代名詞を他動詞の目的語に据えて、文構造上不可欠な要素を完結させた上で、新情報は別途、前置詞句として文末に置く方が好ましいと思われる。なお、(5)の例は Beatrix Potter (2012) の *The Complete Tales* から得た。

- (5) a. He was in disgrace; Flopsy wrung her ears, and slapped **him**. 「耳をひねって彼をぶった」
b. the pail had hit **poor old Tommy Brock**, and killed him dead! 「バケツが哀れな老人トミー・ブロックに当たった」
c. Then he came back to the basket and took out his son by the ears, and whipped **him** with the little stick. 「彼をぶった」
d. The knife crumpled up and hurt **him**; 「彼を傷つけた」
e. He put the ham in the middle of the floor, and **hit it** with the tongs and with the shovel 「それを叩いた」

むすび

現代英語の3種類の所有表現の起源は異なるが、それぞれ独自の用法と制約に基づき、かなり有効に機能している。前置・後置、および形式上の区別によって柔軟な所有表現を可能にしていると言える。また、そのように発達してきたことが歴史的にも裏付けられる。古英語の「利害の与格」 (dative of interest) の例は(3)の特殊な所有構文の起源を探るための貴重な情報源であるが、紙面の都合により、詳細は別の機会に譲ることとする。いずれにせよ、現在の英語は過去の様々な変化の所産であり、英語に関する疑問の多くは過去にさかのぼると氷解することが多い。

藤原教授の英語のはなし 第17弾 「英語の所有表現に挑む！」

講師：藤原 保明 (筑波大学・聖徳大学名誉教授)

はじめに

「弟の靴」、「顔のしわ」、「教室の黒板」のように密接な関係にあるものを結びつける場合、日本語では格助詞の「の」だけですむ。しかし、英語には *my, your, their* などの所有限定詞、名詞の *-s* 形、*of* 句など3通り以上の方法があり、使い分けが必要となるが、これらの「所有表現」の用法は単純ではなく、さまざまな疑問も伴う。たとえば、*a girl's school, books, ours, eats* の下線部の語尾は意味や役割が異なるにもかかわらず、なぜ同じ *s* > *[s/z]* でなければならないのか。「テーブルの脚」は *the table's legs* ではなく *the legs of the table* とするのは *table* が無生物であることが原因なのか。「彼女は私の顔をぶった」は *She slapped my face* より *She slapped me on the face* の方が好ましいのはなぜなのか。このような疑問を解消する手立てとして、歴史的考察は今回も有効であることがわかった。

1 *-s* 形の出現

a *man's sweater*, a *bird's nest*, *children's clothes* のように、名詞を所有の限定詞として用いる場合の *-s* は *-es* の省略形である。しかも、あいまい母音が省略された後、省略記号の上付きの「*'*」が用いられるようになったのは18世紀からである。それゆえ、17世紀初頭の有名なハムレットの台詞 *in my mind's eye*, Horatio. 「心の目の中でだよ、ホレーショウ」のように、その当時の名詞の単数・所有格は *mind's* ではなく、複数形の *minds* と同形であった。

それではなぜ所有形の語尾と複数形の語尾が同じなのか。実は、古英語 (700-1100年頃) では、名詞の単数・属格 (= 所有格) の語尾は *scipes* 'ship's' の *-es* だけではなく、*scine* 'shin' の *-e*, *oxan* 'ox' の *-an*, *sunan* 'son' の *-a* など、多様であった。多様であっても、生物・無生物の区別なく、すべての名詞が属格形の語尾を伴っていた。それゆえ、ラテン語の *tabula* から借用した *tabule* 'table' の属格形も中英語後期には *tabeles* となり、*of* 句が所有を表すようになる14世紀頃までは「テーブルの脚」は *tabeles leg* であったはずである。

名詞の複数形の語尾も単数形の場合と同様に、古英語の末期から中英語 (1100-1500年頃) にかけて母音も子音も弱化し、最終的に中英語の末期には *-s* 以外はすべて消失した。強勢アクセントが語頭に近い音節に固定していたこと、文中での語順の規則が確立してきたこと、多様な語尾変化が不要になったことなどが屈折語尾の消失の最大の原因である。

動詞の語尾変化も同様に弱化和消失の過程をたどった。過去・過去分詞の語尾は伝統的な *-t/-d* が維持されていたが、



3人称・単数・現在形の語尾 *-eth* は北寄りの方言の *-es* が次第に優勢となり、最終的に *-eth* は廃用となった。

13世紀頃以降、所有限定詞の *her, our, your, their* から、それぞれに対応する所有代名詞の *hers, ours, yours, theirs* などが

作られたが、この場合にもやはり *-s* 語尾が用いられた。

2 *-s* 語尾出現の背景

それゆえ、語彙範疇や機能の異なる4種類の語形に同じ語尾 *-s* が用いられるようになったことに対して疑問が生じるのは当然である。この疑問を氷解してくれるのは文中での統語関係と音声上の機能であろう。名詞と代名詞の主格と目的格はそれぞれ他動詞の前後に位置することから、両者を語形で区別する必要性は高くはない。それゆえ、両者を統合した「通格」と属格 (= 所有格) が明確に区別できれば、統語上大きな混乱は生じない。通格と属格をなるべく明瞭に区別できる手段として *-s* が選ばれた動機の一つはこの辺りにありそうである。動詞の過去・過去分詞の語尾として確立している *-t/-d* 以外に、他の語彙範疇の屈折形との区別が最も明確なのは「騒音性」(noise) が大きい摩擦音の *[s/z]* であると判断されたのは自然な流れである。

3 *of* 句の出現

現代英語の前置詞の *of* は古英語の *of* [of] までさかのぼれるが、その中核的な意味は 'from, out of' であり、周辺的な意味として 'among, concerning, about, derived from, made of, belonging to' があつた。この *of* と同じ形式の副詞 *of* は 'away, absent' の意味を表し、中英語期以降は *off* と綴られ、*of* [ɔv] とは明確に区別されるようになった。

中英語に入ると、名詞の屈折語尾の弱化和消失に伴って生じてきた文中における語の機能上の不明瞭さを補うために、前置詞句の使用が徐々に増加し始めた。とりわけ、周辺的な種々の意味を表していた *of* 句の発達は目覚ましく、中英語後期になると *of* は使用頻度が最も高い前置詞の一つとなった。とりわけ、所有・所属・同格・関連などを表す用法が増加した。(1) に示した1400年頃の『マンデヴィル旅行記』(*Mandeville's Travels*) の1節では、名詞を後方から修飾する *of* 句は9例も用いられているが、名詞を前方から修飾する所有限定詞は *his* が1例 (6番目の *of* 句の中に) 見られるが、*-s* 形は1例も見当たらない。ちなみに、受動文の動作主 (agent) を示す前置詞の *by* も *of* で表されているのは興味深い。

(1) At Babyloyne there is a faire chiriche ⁱ⁾ *of* oure lady where sche dwelled vii. yeer whan sche fleygh out ⁱⁱ⁾ *of*

(ご協力者人数・金額)

597名・11,653,000円)

— 18 —

会費完納会員の皆さまへ

平成30年10月15日

一般社団法人 茗 溪 会

理事長 江 田 昌 佑

平成30年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

新たにクレジットカードでお支払いもできるようになりました。詳細は事務局までお問い合わせください。

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

季刊誌『茗溪』正月号に 誌上交流広告掲載ご協力のお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集してまいりました。次号(1100号)では、「年頭の挨拶」を交わす誌上交流を会員の皆さま全員にお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ご応募くださいますようお願いいたします。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』正月号(1100号)誌上

上段に「謹賀新年 平成31年 今年もよろしく
お願いいたします」のタイトルを標記いたします。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を、全国の仲間と交流してください。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で、本部事務局宛ご連絡ください。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力ください。

協力金は本部事務局までご送金ください。

◆原稿等の締切り

平成30年11月23日(金)です。

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23

茗溪会 事務局長 高野 力

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。

筑波大学は今

小・中学生向け学習イベント 「ちよこつと探究クラブ」を開催

8月27日、東京キャンパス文京校舎において、小学校高学年～中学生を対象とした学習イベント「ちよこつと探究クラブ」を開催しました。およそ250人が訪れ、校舎1階のラウンジと6つの教室に設けられた10コーナーを巡りながら、工作や観察、ワークシヨップなどに参加し、夏休み終盤の1日を楽しみました。

この「ちよこつと」シリーズは、毎年4月の科学技術週間に筑波キャンパスで開催される「キッズ・ユニバーシティ」の姉妹版として企画されているもので、少しずつ工夫を加えながら、今回で3回目を迎えました。文系・理系を問わず、本学のユニークな研究活動を紹介し、その一端を実際に体験してもらうことで、子供たちが、現在の学校での学びと大学での研究との関連を発見したり、将来の進路選択のきっかけを得られるような機会を提供することを目的としています。



「自分の内側をはかる。そして知る。」コーナー(上)、
「スポーツ用具の進化を体験しよう」コーナー(下)

第18回アジア競技大会 2018 ジャカルタ・パレンバンで在学生・卒業生が活躍



梶原悠未さん (体育専門学群3年)

8月10日から9月2日にジャカルタで開催された、第18回アジア競技大会において、在学生・卒業生22人が15の競技に出場し、体育専門学群3年梶原悠未さんが自転車競技トラック女子オムニアム、卒業生の小林悠輔さんが柔道競技男女混合団体90キロ級でそれぞれ金メダルに輝きました。これらと合わせて、本学関係者は、計15個(金2個、銀5個、銅8個)のメダルを獲得しました。

「きぼう」で行われた研究成果が、 2018 ISS Award for Compelling Resultsを受賞

医療系の高橋智教授とJAXA(宇宙航空研究開発機構)との共同研究チームが、国際宇宙ステーション(ISS)を活用した顕著な研究成果に対して与えられる「ISS Award for Compelling Results」を受賞しました。これは、NASAなど宇宙開発研究を推進する機関が主催し、米国で毎年開催されるISSの活動を紹介するイベント「ISS R&D Conference」において選出される賞です。



医学医療系 高橋智教授(右から2番目)

今回、高橋教授らが受賞した研究成果は、「マウスの筋肉への重力影響に関するトランスクリプトーム分析」です。日本実験棟「きぼう」において、微小重力および人工重力(1G)環境下でのマウスの長期飼育に世界で初めて成功し、重力が動物の骨や筋肉の量に与える影響を遺伝子レベルで明らかにしたことが評価されました。これらのデータは、動物の身体の形を決める重要な要素となるものと考えられ、生物学・生理学の発展にも貢献することが期待されます。

大学発ベンチャー表彰2018 受賞!



システム情報系 山際伸一准教授(中央)

システム情報系の山際伸一准教授が代表を務める、本学発ベンチャー、ストリームテクノロジー株式会社と九州工業大学は、「大学発ベンチャー表彰2018」において、「科学技術振興機構理事長賞」を受賞しました。

この賞は、大学等における研究開発成果を、おける研究開発成果を用いた起業および起業後の挑戦的な取り組みや、今後の活躍が期待される優れた大学発ベンチャーとともに、特にその成長に寄与した大学や企業などに与えられます。山際准教授は、九州大学との共同研究を通じて超高速データ圧縮技術を開発し、市場に展開しています。この独自技術が高く評価され、今回の受賞となりました。この技術は、大規模なデータを扱うMRIやCTなどの医療画像診断機器から身近なパソコンやスマートフォンまで、あらゆる電子機器に搭載し、システムのコンパクト化、高速化、低電力化に加え、医療や災害対策、新しいエンターテインメント機器の開発など多岐に渡って活用されることが期待されています。

茗溪学園だより

SSH活動報告

夏休み中に、多くの活動がありました。その中からいくつかをご報告いたします。

SSH生徒研究発表会

この発表会は、全国のSSH指定校が一堂に会して盛大に開催される発表会です。平成30年度発表会は、「科学と対話する夏」と銘打たれ、8月8、9日の両日、神戸国際展示場で開催されました。海外招聘校26校を含む234校の研究発表が行われました。

本校からは、科学部生物班の4名（高校3年男女各2名）が参加し、ポスター発表をしました。研究テーマは、「植物の屈性とエチレンの関係を探る」ハツカダイコンはなぜ逆立ちをするのか」でした。

4人は中学2年から植物の根の屈性（環境に応じて曲がる現象）の研究をしてきました（2016年には、日本学生科学賞で優秀賞を受賞）。その中で、「AOA」という化学試薬を使うと、ハツカダイコンがまるで逆立ちするように根を上に向けて伸びる現象を見つけました。



途切れることなくやってくる来場者に手分けして発表し、質問にもよどみなく答えていた

その現象がなぜ起こるのかを明らかにする過程で、「エチレン」という植物ホルモンが「オーキシシン」という別のホルモンを移動させているという新事実を突き止めたのです。

プレゼンでは、「逆立ち現象」に対して仮説を立てて、それをどのように検証していったのかを分か



写真は7月22日に行われた産総研での科学部物理班の発表の様子

りやすく丁寧に説明していました。誠実な発表姿勢はとても好評でした。次々と絶えず発表を聞きに訪れる方々に対して、ミニポスターを使って手分けして説明し、質問にも的確に答えながら2日間の発表を全力でやり遂げました。

発表生徒の感想です。「ずっと続けてきた研究の集大成となる発表の機会をいただきました。5年間で様々な指導をいただき、積み上げてきた研究成果とプレゼン技術を出し切った感じがします。最終発表に選ばれたという思いもあったので、それに残れなかったのは残念でしたが、高校最後の活動を、仲間と一緒に今までに学んだこと、ここでの学びを楽しむことができました。」

なお、この研究の最後の実験は、蛍光顕微鏡を使用して行うもので本校内では実施できないため、筑波大学の実験室で、大学の先生方や学生の方のご協力ご指導をいただいて行われました。また、この実験に必要となる試薬は特別なもので、岡山理科大学の林謙一郎先生のご厚意によりご提供いただきました。この紙面をお借りして感謝申し上げます。

マスフェスタ全国数学生徒発表会

この発表会は、大阪府立大手前高校が主催する活動で、8月24、25日、兵庫県西宮市の関西学院大学を会場として開催されました。全国から70校ほどの参加があり、本校からは科学部数学班2名（高校2年男子）が参加しポスター発表をしました。

それぞれのテーマは、「反転の3次元にてのツール応用と証明」、「IBの数学と日本の数学の表現の違いについて」でした。全国の非常にレベルの高い研究発表に触れ探求心を大いに触発されていました。

その他の活動

他にも、屋久島でのフィールドワーク（埼玉県春日部高校と

の合同研究12名参加）、筑波大学サマリーサーチプログラム（3名参加）、産総研一般公開・中高理科系クラブ研究発表に科学部物理班と生物班が参加しました。

中学ラグビー部フランスチームと交流試合

フランスの一流ラグビークラブとして名高いRacing（ランシング）92の14歳以下のチーム（フランスU14優勝の実力）が来日し、急遽本校ラグビー部が交流試合をするこ

とになりました。

試合は、7月5日（木）放課後に本校人工芝ラグビー場で行われました。体格を考慮し本校は代表チームを中学3年を含むU15とし、中学2年のU14の試合も行いました。結果は、接戦の末本校が両チームとも勝利しましたが、試合後の交流会では和気あいあいと互いに交流を深めていました。



日本のルールに合わせて12人制（スクラムは5人）とした。来日直後で当日の厳しい暑さにもフランスチームは苦しめられていた

部活動など結果報告（7～9月）

中学県総体総合成績：男子優勝（2年連続）・女子6位

◎**中学ラグビー部**：◎**全国大会準優勝**（第9回全国中学生ラグビー大会、8年連続8回目出場、5年ぶりの決勝戦進出）

◎**高校ラグビー部**：第5回全国7人制大会11位、福井国体出場（茗溪主体茨城選抜10月開催）

【**全国中学大会**】

体操：男子団体8位（関東大会2位）、

バドミントン部：男子団体1回戦（関東大会2位）男子単1回戦男子複2回戦

【**高校インターハイ結果**】

柔道女子個人57kg級1回戦、体操女子個人総合38位、バドミントン男子複2回戦、剣道女子個人1回戦

◎**科学部無線班**：第15回全国ARDF大会中学高校団体個人12のカテゴリーで複数入賞（2位～4位）

【**全国高校総文祭（長野県開催）出場**】 **美術部**

◎**吹奏楽部**：定期演奏会・7月31日ノバホール（つくば市）

『五感で楽しむ 蓮図鑑』

「見る、育てる、味わう」

著 者…高畑 公紀（平成11年筑二生）

生蓮寺副住職（奈良県五条市）

本の大きさ…A5判 全159頁

発行 所…（株）淡交社

発行年月日…2018年1月28日

蓮のチカラで身も心もゆったり、キレイになりましょう。

五感を駆使して蓮を丸ごと楽しむ「体験型図鑑」！
世界初！蓮の開花時期が分かる図鑑です。

各品種の花容の変化を複数の写真で紹介しています。
（帯封から）

目次概要

- ・見て綺麗になる
- ・育てて綺麗になる
- ・食べて綺麗になる
- ・香で綺麗になる
- ・蓮友達を作って、出かけて綺麗になる
- ・子どもと一緒に遊ぼう
- ・手を使って綺麗になる
- ・仏教叢智に学んで綺麗になる

（茗溪会事務局）



『目からウロコの自然観察』

著 者…唐沢 孝一（41年教大理）

NPO法人自然観察大学学長

都市鳥研究会顧問

本の大きさ…新書判 全182頁

発行 所…中央公論社

発行年月日…2018年4月25日

ヒバリはなぜ天高く舞いながらさえずるのだろうか？
百日紅（さるすべり）はその名の通り100日咲きつづけるのか？
ヒガンバナは本当にお彼岸に咲くのか？
秋にたくさんいたスズメたちは冬にどこに行ってしまうのか？
見慣れた動植物を詳しく観察してみると、意外な発見に満ちている。ツクサやオシロイバナのような草花からチョウやツバメ、カエルまで四季の生き物の素顔をカラーで紹介。
（帯封から）

目次概要

- ・春
- ・初夏
- ・夏
- ・秋
- ・冬

（茗溪会事務局）



『「社会に開かれた教育課程」のカリキュラム・マネジメント〜学力向上を図る教育環境の構築』

著 者…山崎 保寿（平成4年筑修教）

静岡大学教育学部教授

本の大きさ…A5判 全160頁

発行 所…学事出版

発行年月日…2018年3月7日

平成29年の学習指導要領改訂では、英語教育の早期化や道徳の教科化といった内容的変化だけでなく、コンテンツ・ベースからコンピテンシー・ベースへの転換、アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントの連動的導入など、学校教育にこれまでにない方法的・機能的変化がもたらされようとしている。本書は、新学習指導要領の理念である「社会に開かれた教育課程」を実現していくためには、どのような教育環境を構築すべきか、その条件を学校組織、校内研修、学力向上、地域連携などの視点から説いたものである。また、「社会に開かれた教育課程」と「開かれた学校づくり」との異同、カリキュラム・マネジメントの階層的構造、教育委員会と学校を取り巻く学力向上施策の多層的位相、カリキュラム・マネジメントを推進する学校管理職の役割などにも触れている。巻末には、用語解説として、新学習指導要領時代を読み解くキーワード集が収められ、教育の変化を的確につかむのに役立つ。
（著者記）



◆三六会（昭和36年東京教育大学農学部林学科）

と き 平成30年6月10日（日）

ところ 柴又帝釈天 川千家

現存者22名の内14名の出席予定でしたが、直前の体調不良で9名の出席となりました。出席者全員80才を超えましたが元気です。来年も必ず出席する事を誓って会散しました。（幹事：田村正義）



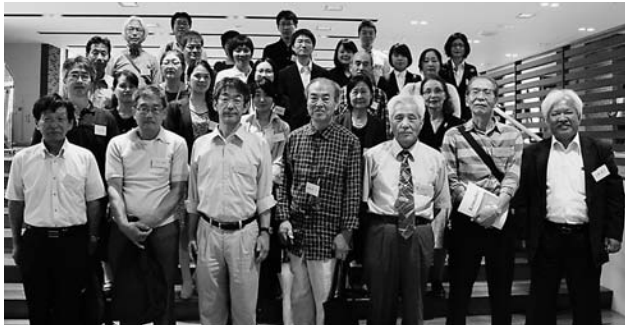
◆第60回コマベア会

と き 平成30年6月23日（土）

ところ 筑波大学東京キャンパス&近隣レストラン

昭和26年に生まれたコマベア会は、東京農業教育専門学校、東京教育大学、筑波大学と続く、植物病理学研究室（現植物寄生菌学研究室）のOB・OGと現役学生・教員が集う同窓会です。60回目、まさに還暦を迎えた本会の総会・懇親会には今年も懐かしい面々が集い旧交を温めました。この絆が永く続くことを願います。

（文責：岡根 泉）



◆教大体育学部 昭和35年卒 バレーボール部同期の集い

と き 平成30年6月25日（月）～26日（火）

ところ 浜名湖かんざんじ温泉「時わすれ開華亭」

第16回目を迎えた「珊瑚会」の集いは、宮地、佐藤、下山、松澤、水口の男性5名（男性は全員奥様同伴、うち1名はお嬢様も参加）と、川田（旧姓栗原）の女性1名の計12名が参加。全員が元気に集まったことに感謝し、夜遅くまで楽しい語らいの時をもちました。そして、来年の再会を誓い合い散会しました。

（写真：松澤 明、文責：川田節子）



◆2018言語ミニ同窓会

と き 平成30年6月29日（金）～30日（土）

ところ さぬき倶楽部（港区三田）

昨年は新潟開催だったが、いわゆるドタキャンの不参加ということがあって4名の参加に留まった。少々寂しい思いをしたが、今年は6名の参加だった。1960年卒の青木克美氏が4月に急逝して同期生は5名となった。青木克美氏の冥福を祈るばかりである。

（岩佐晴夫（1960卒）記）



◆第11回大塚人文地理学OB会

と き 平成30年7月1日（日）

ところ アルカディア市ヶ谷（私学会館）

東京文理大学・東京教育大学・筑波大学で人文地理学を学び、大学その他で研究と教育に携わってきた60歳以上の東京および関東在住者を中心とした交流会で、21名が参加しました。それぞれが、現在の取り組みについて熱っぽく語り、楽しい会になりました。

（写真：内山幸久 記：田林 明）



◆漕艇部 昭和59年入学同期会

と き 平成30年9月22日（土）～24日（月）

ところ 筑波山ホテル青木屋

卒業30周年を記念してつくばに集まりました。学内の散策、土浦艇庫跡の見学、筑波山登山、戸田でナックル出艇と、大変懐かしいひと時を過ごす事ができました。（幹事：田原俊樹 文：照井宏直）



追 悼 録 (敬称略)

福田 博 17農教 30・7・25
 〒629-2244 宮津市江尻465-1 長男 福田 和夫
阪柳 光春 23大植 30・5・17
 〒162-0063 新宿区市谷薬王寺町12 妻 阪柳 琴子
稲垣 剛一 23文四 30・4・4
 〒939-0341 富山県射水市三ヶ上新町1124 長男 稲垣 洋一
大森 義宏 23文四 30・9・10
 〒223-0061 横浜市港北区日吉1-9-3 長女 鎌田ひろみ
須田 八郎 24大倫 30・6・24
 〒194-0014 町田市高ヶ坂2-25-2 長女 吉野かおる
鈴木卯太郎 24理二 29・4・30
 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科931 妻 鈴木 ゑい
増田 仁一 25理三 30・7・15
 〒427-0113 島田市湯日1306 妻 増田 玲子
黒沢 義 25体 30・2・9
 〒356-0007 ふじみ野市北野1-4-21 妻 黒沢 昌子
小貫 拓好 26理四 30・6・16
 〒961-0957 白河市道場小路69 妻 小貫久美子
齊藤 定吉 28教大英 30・8・9
 〒330-0841 さいたま市大宮区東町1-16-1-301 長女 於保 明子
端山 篤 28教大健 30・6・20
 〒182-0033 調布市富士見町4-2-97 妻 端山 純子
岡本 豊 31教大國 30・2・19
 〒183-0052 府中市新町2-54-5 長男 岡本 健一
高野 淳 31教大地鉦 30・4・30
 〒310-0836 水戸市元吉田町1357-7 妻 高野 律子

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 遺族住所・氏名

吉中 宏 32教大法政 30・3・8
 〒248-0024 鎌倉市稲村ガ崎5-36-14 妻 吉中 悦子
高橋 稔 32教大心 30・9・5
 〒366-0801 深谷市上野台3124-4 長男 高橋 雅夫
石井 弘一 32教大物 30・5・8
 〒241-0005 横浜市旭区白根4-28-3-101 長女 佐原 祐子
三村 恵造 32教大化 30・2・21
 〒720-0822 福山市川口町2-11-20 妹 岡田 節子
水越 三郎 32教大林 29・8・30
 〒192-0916 八王子市みなみ野4-5-11 長女 鈴木 由貴
岡本 彪 32教大体 30・8・2
 〒320-0056 宇都宮市戸祭2-6-18 妻 岡本 邦子
横濱 康繼 33教大植 30・8・13
 〒173-0035 板橋区大谷口2-3-6 妻 横濱美恵子
狐塚 英隆 36教大健 30・5・12
 〒061-1432 恵庭市恵央町13-5 妻 狐塚 弘子
鈴木 寛 36教大健 30・1・2
 〒990-2483 山形市上町3-10-23 妻 鈴木 景子
小池 清治 39教大國 30・4・5
 〒321-0141 宇都宮市さつき3-19-8 妻 小池眞悠美
室井 光 39教大総農 30・5・19
 〒960-8141 福島市渡利字東4-2 妻 室井 房子
向嶋 成美 40教大漢 29・10・17
 〒203-0051 東久留米市小山5-1-41 長男 向嶋 景
三枝 康治 48教大倫 30・1・30
 〒403-0022 南都留郡西桂町小沼1489 妻 三枝 春美



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若溪学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若溪会担当：常務執行役員人事部長 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

取締役社長 塚本 一也

(平成3年環境科学研究科修了)

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

平成30年春の叙勲

おめでとうございます

(追記
敬称略)

瑞宝中綬章

金丸 忠義 37教大数

瑞宝小綬章

磯部 一洋 43教大地・45院修地

根岸 博 25理三

八木 義雄 34教大國

高田 善明 43教大特教

(熊 本)

(茨 城)

(埼 玉)

(静 岡)

(滋 賀)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

訂正

前号(平成30年夏号)で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

P 25 「追悼録」

(正) 岡崎成美

(誤) 岡崎茂美

(正) 釜森圭一

(誤) 鎌森圭一

(正) 釜森矩子

(誤) 鎌森矩子

広 報

「筑波大学新聞」10月号を同封します

春号に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読みください。

公益財団法人 柴田育英会だより

茗溪会元理事長の柴田周吉氏が設立した柴田育英会の「奨学生懇談会」が、9月30日(日)に茗溪会館で開催されました。

表紙写真について

これまで4年間あまり、季刊誌「茗溪」の表紙には西川潔前副理事長撮影の筑波大学風景を載せてきました。今年の春号から一新して、全国各地で活躍する茗溪会会員からの写真で表紙を飾ることにしました。従来から季刊誌の表紙は重要なコミュニケーションの場と位置づけ、できれば全国的広がりをもつ茗溪会組織を、そこで表現できないかと、関係者で話し合ってきました。それが実現しました。

今回は、富山茗溪会にお願いをしました。

表紙の言葉

富山茗溪会 赤川雅和

この春の退職まで、42年間に県内9つの学校に勤務した。その全てが、富山県の名に違わず、校歌に山々を詠み込んでいた。◆「朝日に匂う太刀の峰」雲居はるかに青春の(滑川高校)、「朝日影空に満ちアルプス明かし雪は燃ゆ」(魚津高校)、「若きあこがれに瞳はもえて 仰ぐ立山新雪匂う」(富山中部高校)、等々といった具合である。富山の若者は、日本海に向かって飛翔する蝶の形を縁どる3千メートル級の山々を日々仰ぎ、その雄々しさを心に刻みつつ育つ。◆写真は、水橋高校の屋上から撮影したもの。右から大日岳、奥大日岳、剣御前山、そして剣岳と続く。立山連峰の岳岳たる姿が最も美しく感じられる地点である。水橋高校は、県内唯一の体育コースを擁する普通科校として昭和58年に開校された。サッカー、カヌー、フエンスシング、テニス、陸上部が全国大会に出場し、活躍している。◆残念ながら、少子化の流れの中で、来年度で募集を停止し、隣接の富山北部高校と統合されることが決まった。この山々に見守られた豊かな環境の中で、生徒たちと「銀嶺の放つ光は 地に満ちて」と謳ったことが懐かしく慕わしい。

編集後記

今年の夏は各地で暴風雨、地震などに起因する自然災害が多発しました。当該地域の会員の皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。

◆本号では、7月22日に行われた「茗溪・筑波産業人倶楽部発会式」を特集しました。母校の東京高等師範学校(東京文理科大学)東京教育大学(総合大学)としての筑波大学への変遷に伴い、同窓会としての茗溪会も産業人という新たな視点を明確に位置づけました。これからの産業人倶楽部の活動を期待するところです。◆今年もこの一年に亡くなられた諸先輩方のご遺族のご参加をいただいて「追悼のつどい」が開催されました。ご遺族のお話がいつも印象に残ります。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めにお願ひいたします。

平成30年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇二四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsujinuu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

予 告

第6回東京茗溪会

総会・講演会・交流会

日 時…12月2日(日) 14時～18時30分
場 所…茗溪会館

・第一部 総 会 14時～

(4階新泉・筑波の間)

・第二部 講演会 15時～

講 師 小林 千洋 さん

真田 久 さん

「オリンピックと茗溪人」

今回の講演会はお二人に対談形式にてお話しいただきます。

・第三部 交流会

16時30分～18時30分

(2階茗溪の間)

1100・正月号は
平成31年1月15日発行予定です。



株式会社 阿部兄弟建築事務所

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 荒井 豊人 (昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120



経営・労務・年金etc. コンサルタント

福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3

TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士



株式会社 十和観光

代表取締役 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

「美味しい」の、その先までを考える。

— 私たちは、食に関する戦略提案型メーカーです。 —
食の調達・加工から新商品の企画開発、供給まで。
戦略パートナーとして、お客様の期待を超える提案をします。



株式会社 フーズプランナー

〒160-0022 東京都新宿区新宿一丁目20番13号

花園公園ビル8階
TEL: 03(5363)6233 FAX: 03(5363)6222
<http://www.foods-planner.co.jp>

常務取締役 田中 修 (昭54年 第二学群 農林学類卒)

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」

TSUKUBA WAY プロジェクト

～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡 2004年卒)

FXC

Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之 (93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 ケエスアイ

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669



株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号

電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之 (昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修にー

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,700円から
茗溪会員とご家族に割引あり

研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室／研修室2室 (120・40名)
和室も研修室として利用可 (20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等 (数名から80名まで)

アクセス

秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス／「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分 ●つくば駅からタクシー／5分

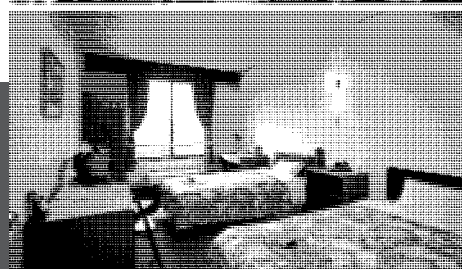
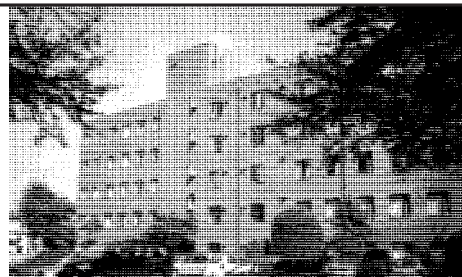
一般財団法人筑波学都資金財団

筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5

TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp



Wedding PARTY

茗溪会員
筑波大学
関係者の
皆様へ

筑波大学在学生・卒業生・関係者
の皆様だけに贈る!!

【ご優待特典】

〔ご婚礼〕

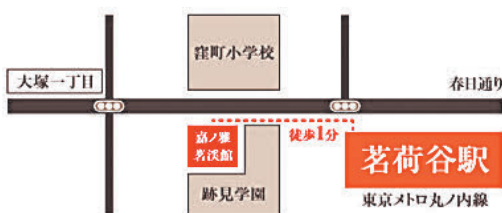
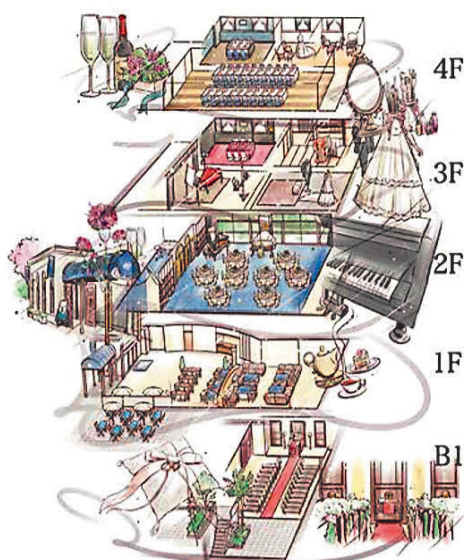
費用総額より**5%OFF**

KANOBI MEIKEIKAN



一日一組 5フロア全館貸切で、
あなただけの特別なウェディングが叶います。

東京駅から、電車で10分。東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分。



“嘉ノ雅”
KANOBI



茗溪館
MEIKEIKAN

03-5319-1888

営業時間 / 11:00 ~ 20:00
(第二火曜日定休)

結婚は、受験・就職以上に 人生の大切な選択。キューピッドは、 あなたの新しい家族を提案します。

人生のパートナーとの出会いを
期待できない毎日は、本当にもったいないです。

“結婚カップルの言葉”で真実を確信し、
結婚相手としてふさわしい方が
扉を開く会員制クラブ。

かけがえのない出会いをきっかけに、
新しい家族を築こうとする想いに応えたい。
私たちは真剣に向き合います。



キューピッドクラブ

検索

毎週届くご結婚カップルの真実の言葉。
※ご婚約カップルに接したスタッフブログも更新中。

キューピッドの 結婚

キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年S・U・L・Cの名称で設立以来38年。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽に請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



結婚を誠実に考える人の会員制クラブ
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗 溪 会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電 話 03(3941)0136

F A X 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金（税サ込）

シングルB（バス・トイレ共同）

¥ 6,500→平日¥ 4,800 休前日¥ 5,800

シングルA（バス・トイレ付）

¥ 8,200→平日¥ 6,200 休前日¥ 7,200

ツイン（バス・トイレ付）

¥13,800→平日¥ 9,800 休前日¥12,800

朝食バイキング ¥ 1,050→¥ 760

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2

TEL 03 (3356) 4605

FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口
JR新宿駅より車5分 } より徒歩7分



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群

ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群

グローバル・コミュニケーション学群(2016年開設)

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭

入試事務室相談役 川田 孝一（昭39教大総農）

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

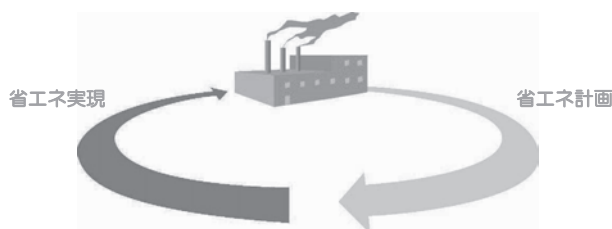
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



ENERGY SAVING SYSTEM FOR

YOU

熱エネルギーの有効利用



排熱 & 未利用エネルギー

MAKE THE MOST OUT
OF
YOUR WASTE HEAT

Osaka
Techno-crat

株式会社 大阪テクノクラート

http://www.osaka-techno.com

TEL: 03-5256-8261

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
- ◆ 国際バカロレア (IB) 認定校です
2017 年 4 月から IBDP 課程開始
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です

2019 年度 茗溪学園入学試験日程

中学グローバルコース入試
専願 11月30日(金)、併願 1月13日(日)
中学推薦入試・帰国生入試 12月15日(土)
中学英語資格入試(新設)
第1回 12月15日(土)、第2回 1月13日(日)
中学一般入試
第1回 1月13日(日)、第2回 1月26日(土)
高校帰国生特別選抜
第1回 11月30日(金)、第2回 12月15日(土)
高校推薦入試 1月9日(水)
高校一般入試 1月26日(土)
高校IB入試(専願・IBDPコース) 1月26日(土)
(詳細はホームページなどでご確認ください)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)